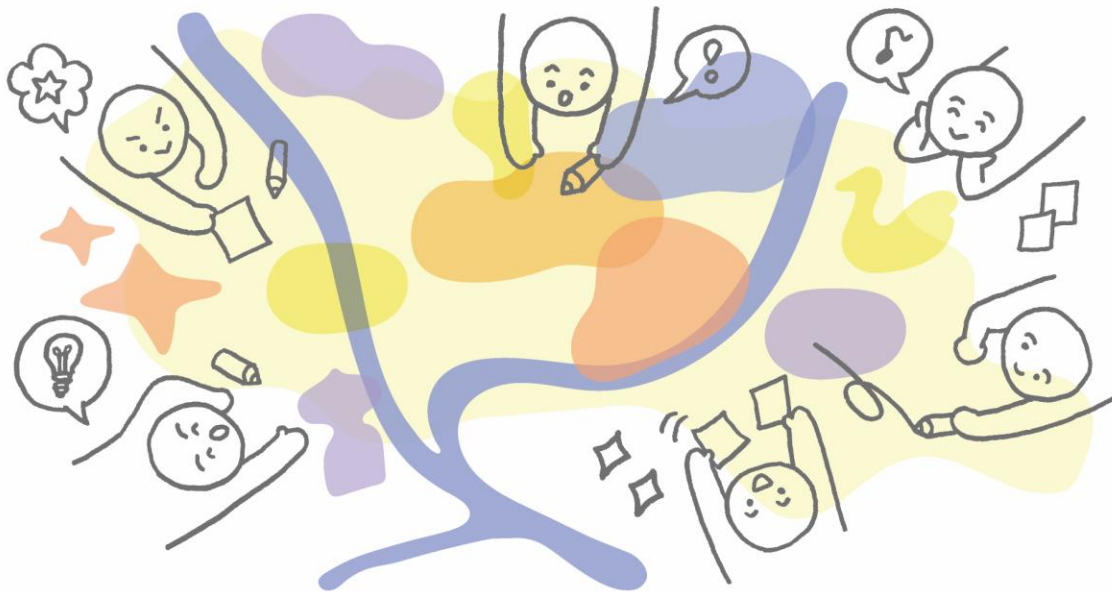




盛岡市中心市街地 デザイン戦略



令和7年11月 盛岡市

※まちづくりに関わる地域の方々へのヒアリングや市の各種個別計画をもとに現時点での調整案をまとめたものであり、今後、地域や関係機関等との意見交換を通して内容は変更の可能性あります。



1. 「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは	3
(1)なぜ今「中心市街地デザイン戦略」が求められるのか	4
(2)「中心市街地デザイン戦略」が目指すもの	9
(3)「中心市街地デザイン戦略」の役割	16
(4)「中心市街地デザイン戦略」の対象区域	20
2. 盛岡市中心市街地の特徴と課題	22
(1)盛岡市中心市街地全体の特徴と課題	23
(2)交通・モビリティに関する特徴と課題	25
(3)エリアごとの特徴と課題	28
■駅前通りエリア	30
■北上川エリア	32
■材木町エリア	34
■開運橋エリア	36
■大通りエリア	38
■菜園通りエリア	40
■映画館通りエリア	42
■内丸・中央通りエリア	44
■櫻山・大手先通りエリア	46
■本町通り・寺町エリア	48
■中津川エリア	50
■紺屋町・葺手町エリア	52
■肴町エリア	54
■八幡通りエリア	56
■下ノ橋町・清水町エリア	58
■鉾屋町エリア	60

3. 盛岡市中心市街地の将来ビジョン	62
(1)盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン	63
(2)交通・モビリティに関する将来ビジョン	67
(3)エリアごとの将来ビジョン	70
■駅前通りエリア	72
■北上川エリア	74
■材木町エリア	76
■開運橋エリア	78
■大通りエリア	80
■菜園通りエリア	82
■映画館通りエリア	84
■内丸・中央通りエリア	86
■櫻山・大手先通りエリア	88
■本町通り・寺町エリア	90
■中津川エリア	92
■紺屋町・葺手町エリア	94
■肴町エリア	96
■八幡通りエリア	98
■下ノ橋町・清水町エリア	100
■鉾屋町エリア	102
4. 今後に向けて	104
(1)エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）	105
(2)実現化方策	109
(3)今後のスケジュール（案）	114

1.「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは

(1)なぜ今「中心市街地デザイン戦略」が
求められるのか

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは、盛岡のまちづくりを担っているみなさん、盛岡の行政や企業ではたらくみなさん、さらには多くの市民のみなさんと、盛岡の中心市街地の将来の姿を話し合っ、目に見えるビジョンとして描き（デザイン）、それを実現していくための方法（戦略）とともに示すものです。

盛岡の中心市街地は、盛岡市の行政・経済・商業の中心地である一方、岩手山をはじめとする山々に囲まれ、北上川、中津川などまちなかの水辺の風景に恵まれ、城下町から続く歴史的な街並みや文化豊かな多様なエリアが広がる、日本を代表する魅力的なまちです。

このまちは、これまで盛岡のまちづくりに「色々なかたち」で携わってきた多くの先人たちによってつくられてきました。そう考えると、まちづくりというのは、つねに未来に向けたバトンだということに気づかされます。では、今を生きる私たちは、未来にどんな盛岡を残していけるでしょうか？

市と市民と一緒に盛岡の未来へのバトンとしてのまちづくりを語り、描き、実現していくために「中心市街地デザイン戦略」を策定しました。



中心市街地が抱える課題

いま全国の地方都市では、人口減少、高齢化、義務的経費の増大、担い手不足といった多くの問題を抱え、先人たちがつないできたまちづくりというバトンを未来へとつなぐのが難しくなっています。

盛岡の中心市街地も行政・経済・商業の中心地として、エリアごとに特徴をもったまちが成立してきた一方、現在下記のような具体的な課題への対応が必要な状況にあります。

● 中心市街地の商業地としての役割の低下

中心市街地における小売店舗売場および年間小売販売額、それらの市全体におけるシェアが減少傾向にあります。

● 更新時期を迎えた都市インフラの再整備

戦後～高度経済成長期を支えた都市インフラが順次、更新時期をむかえます。官公庁街である内丸地区でも市庁舎等公共施設の再整備の必要性が指摘されています。

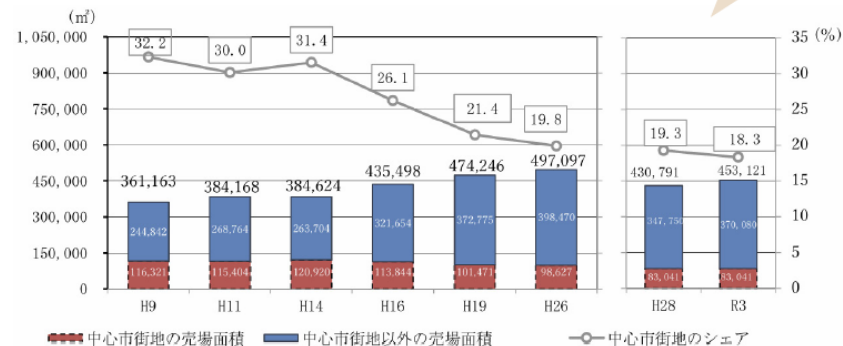
● 長期的な視点を持たない土地利用変更や開発行為

都市機能の変化や更新の中で、エリアのまちづくりとの連携や長期的な視点が不在の土地利用変更や開発行為が散見され始めています。

● 小売店舗売場

市全体では大幅に増加したのに対し、中心市街地では減少傾向にあります。

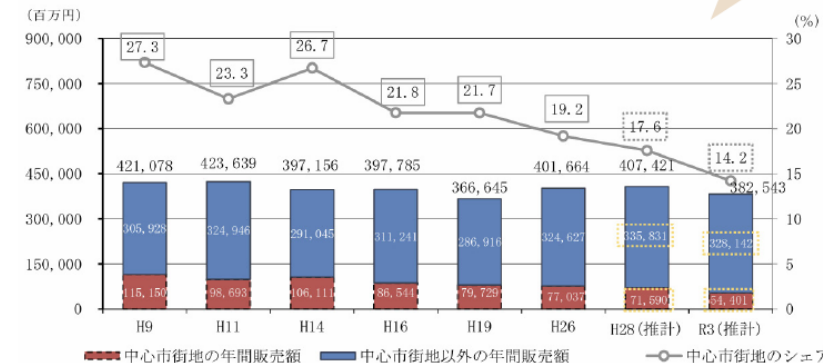
中心市街地のシェアは減少傾向…



● 年間小売販売額

市全体、中心市街地ともに、年間小売販売額は減少傾向にあります。

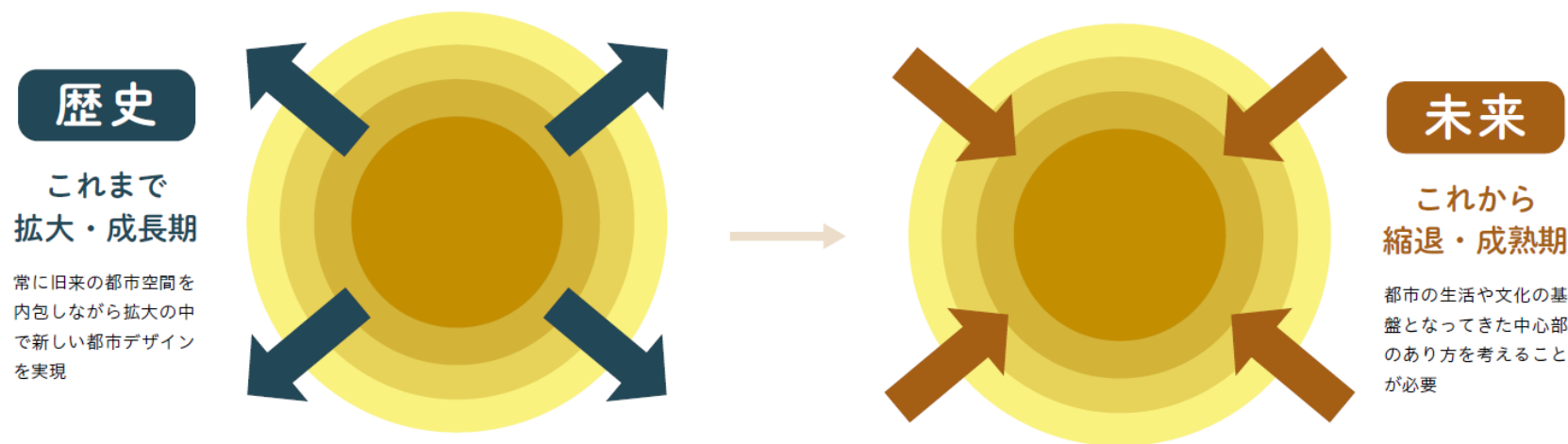
中心市街地のシェアは減少傾向…



資料：経済産業省「商業統計調査報告書」/ 総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」/ 盛岡市商工労働部経済企画課

縮退・成熟期における地域のアイデンティティの継承と 中心市街地の関係

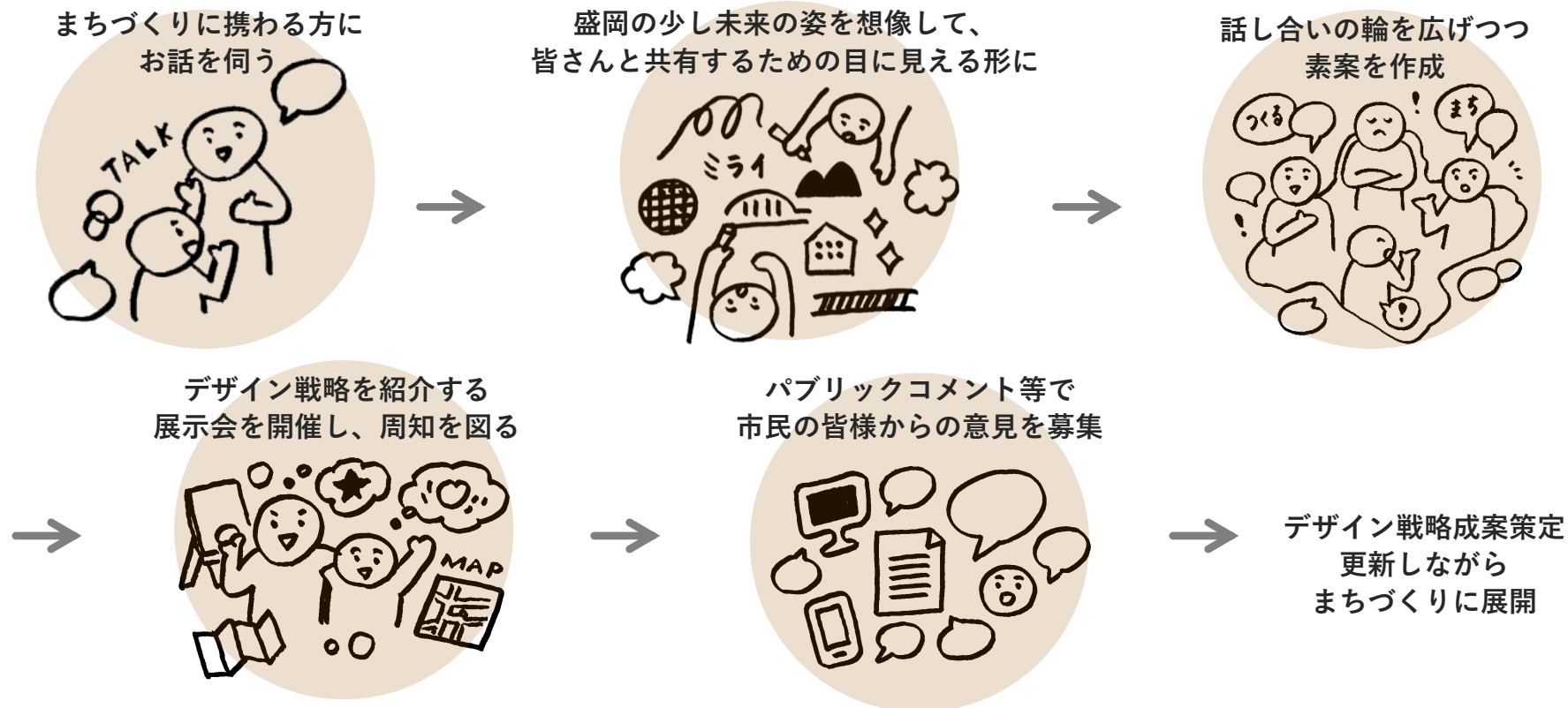
これまでの都市の拡大・成長期には、旧来の都市空間を内包しながら、拡大の中で新しい都市デザインを実現してきました。人口減少が進むこれからの都市の縮退・成熟期には、都市の生活や文化の基盤になってきた中心部のあり方を改めて考え、地域のアイデンティティとは何かを意識的に議論するまちづくりがより重要になります。中心市街地が抱える諸課題に対応しつつ、**盛岡のアイデンティティの核となってきた中心市街地について、都市の生活や文化のあり方を含めて考える**ことは、先人たちの思いをつなぎ、盛岡の魅力を次の世代へ継承していくために大切なことです。



盛岡の未来を語り、描き、実現していくまちづくり

先述の問題意識を踏まえて、今の盛岡の魅力や人々の活動をどうつなぎ合わせて、よりよい未来を実現していくか、議論しながら知恵を出していく「中心市街地デザイン戦略」の取組をはじめました。

ぜひ多くのみなさんに、盛岡の未来を語り、描き、実現していく、「中心市街地デザイン戦略」のまちづくりに参加していただければ幸いです。



(2) 「中心市街地デザイン戦略」が目指すもの

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」が目指す 中心市街地のすがた



わたし

市民や盛岡に関わる人がまちづくりについて対話し、自ら行動につなげる

いろどる

エリアごとに多種多様な個性があり、独自の取組がおこなわれている

つなげる

個別ではなく互いに共有・連携することで取組を効果的にしていく

みがく

歴史・自然とともに受け継がれてきた「盛岡らしさ」をさらによいものに

ひらく

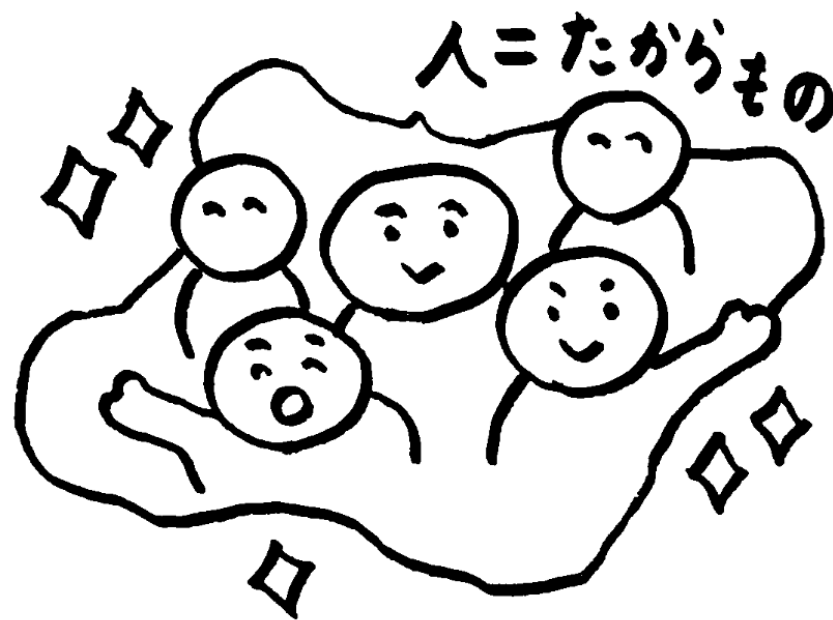
新しいモノ・コト・人とともに「新たな盛岡の魅力」をつくりだす

【わたし】盛岡の未来を担うのは一人一人の「私」たち

盛岡は、まちづくりのために自ら行動をおこせる人がとても多く住んでいるまちです。これは盛岡の一番の宝です。

まちの未来を考えるのは市役所だけの仕事ではありません。まちづくりが難しい時代だからこそ、盛岡の未来を考え実現していくのは、盛岡に住み、盛岡が大好きな、**盛岡に関わる一人一人の「私」**たちです。

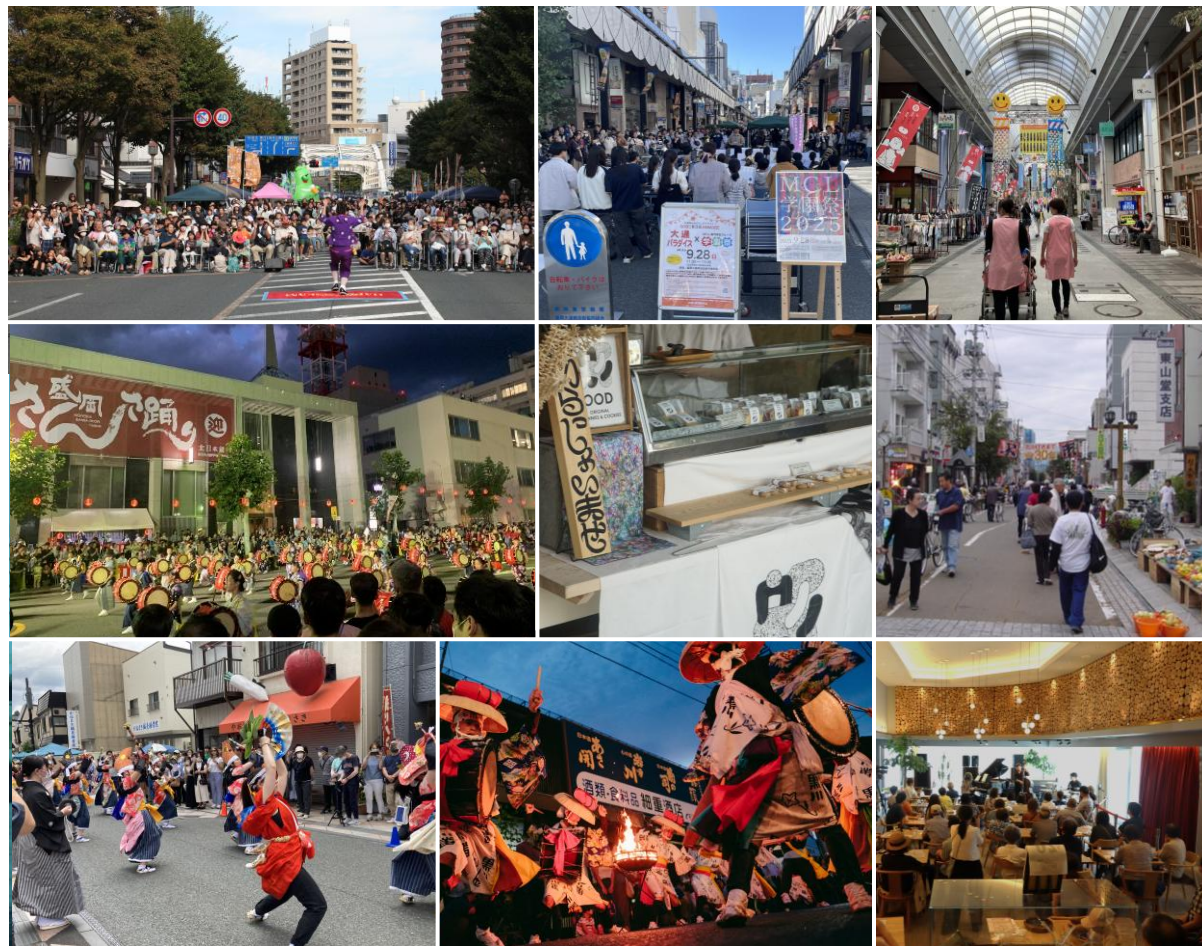
まちづくりというバトンを、世代を超えてつないでいくには、今を生きる私たちがまず未来の盛岡を想像してワクワクし、楽しく参加したくなる計画にすることが大切です。今の盛岡の魅力や人々の活動をどうつなぎ合わせて、描いた未来を実現していくか、参加するみなさんが楽しみながら知恵を出していくような、そんなまちづくりを進めていければと考えています。



【いろどる】多様な担い手に支えられた個性あるエリアの発展

盛岡の中心市街地では、多種多様なエリアが形成されていて、それぞれで商店街組織や企業、NPO法人、個人など多様な主体がその地域を盛り上げ、より良い場所にするための運動やイベントをおこなっています。

デザイン戦略では、この**多様な担い手に支えられた個性あるエリア**の取組がさらに発展すること、それらが互いに連携し、影響し合いながら成長していくことを目指します。それにより各取組が相乗効果を生み、盛岡のまちづくりがより良いものとなると考えています。



【つなげる】盛岡の未来を実現するための共有と連携

各エリアの取組が互いに連携し成長していくためには、各取組の先にある**まちの未来の姿を目に見えるかたちで共有することが大切です**。共有されてないと、実現の方法を考えたり、連携・協力したりして、未来を実現していくことができません。

「デザイン戦略」の「デザイン」には、「**皆さんと考えたり、計画したりする、まちの未来の姿を、目に見えるかたちで表していく**」という意味が込められています。

そして、**描いた未来を実現する方法を考え、協力し合って実現する**まちづくりを進めていきたいという思いから「**戦略**」という言葉をつかっています。

「中心市街地デザイン戦略」は、盛岡の少し先の未来を目に見えるかたちで共有することで、より多くの人たちが興味を持ち、共感し、参加し、ともに作りあげていく計画となることを目指しています。



【みがく】時代を超えて受け継がれてきた盛岡らしさ

盛岡の中心市街地は、周囲の自然地形を取り込んで計画された近世城下町をもとに、様々な時代の都市デザインがパッチワークのように縫い合わされ形成されました。

- 山と川に触れられる風景の豊かさ
- 細やかな通りに商いがある街の奥行き
- 文化を大事にする人の繋がり

これらは、その中で醸成され、先人たちが築いてきた現代の盛岡の魅力、大切な「盛岡らしさ」です。世界のまちづくりで自然と都市との関係やローカルな文化の価値が見直されている今、これらの大事な地域資源をみがくことが大切です。

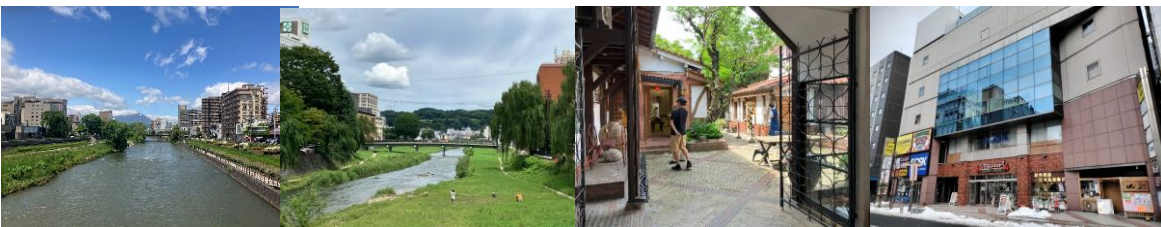


自然地形を取り込んでデザインされた城下町

「南部領盛岡平城絵図」国立公文書館蔵
出典：国立国会図書館デジタルアーカイブより



複数の時代の都市デザインがパッチワークのように縫い合わされてきた現代の盛岡中心市街地



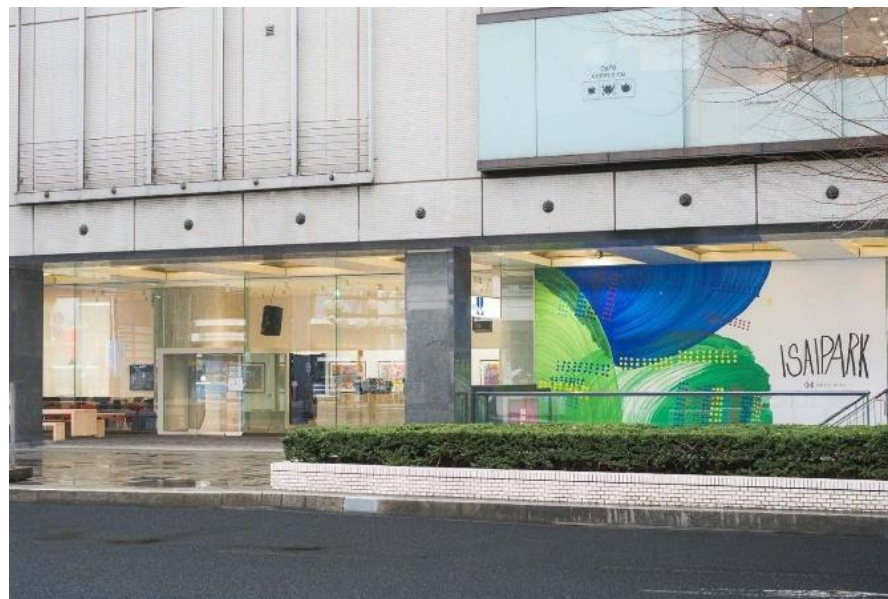
山と川に触れられる風景や、盛岡の文化が感じられる通り沿いの商いの例

【ひらく】新たな盛岡の魅力をつくるまちづくり

「盛岡らしさ」は、時代を超えて受け継がれてきたものだけではなく、**今の時代に生きるわたしたちが新しく作りだし、未来に受け継いでいけるもの**でもあります。

例えば、各エリアの取組を支えてきた自然や歴史資源の状況や社会状況の変化により維持が難しくなった際にも、形を変えて取組を続けていくことができます。また、市民に馴染み深い施設とアートの今までにないコラボレーションにより新たな魅力を生み出すこともできます。

先人たちが築いてきた歴史・文化を大切にしながら、新たなモノ・コト・人を受け入れ、ひらかれたまちづくりをおこなうことで、形を変えても変わらない「盛岡らしさ」を継承することや、新たな「盛岡らしさ」を創出することができると考えます。

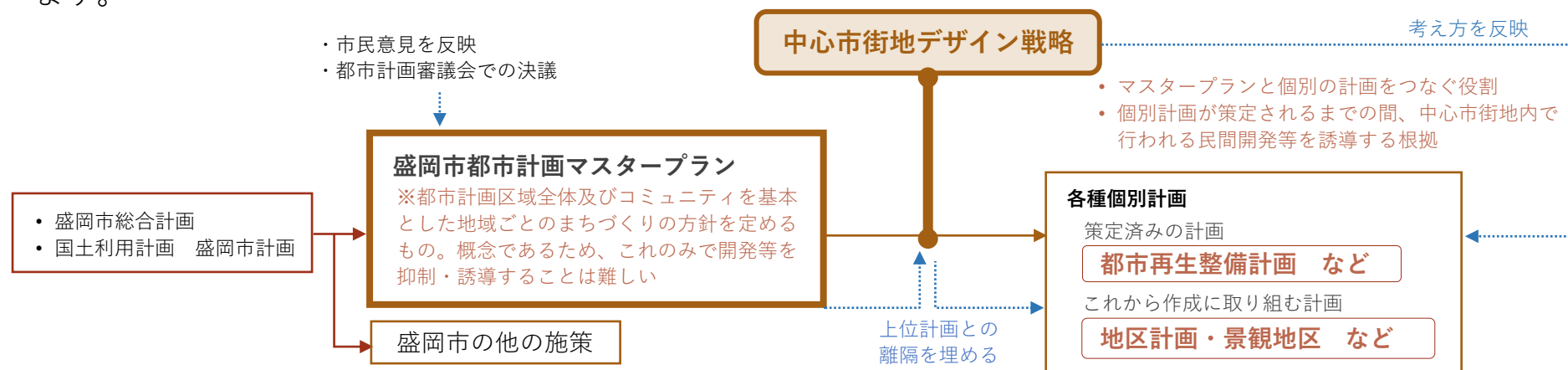


(3) 「中心市街地デザイン戦略」の役割

上位計画に基づいて策定される各種計画の位置付けを明確にし、 詳細計画に落とし込むための素地

盛岡市の行政運営における最上位計画「**総合計画**」の下、望ましい都市像やまちづくりの目標を明確にし、この目標の実現に向けて、都市計画の諸施策を総合的かつ体系的に展開していくため、市民参加のもとに策定する将来のまちづくりへ向けた基本方針を定めたものが「**都市計画マスタープラン**」です。盛岡市が実施する都市計画（土地利用、道路・公園・下水道等の都市施設整備、市街地開発事業等）は、すべてこのマスタープランに即して実施されることになります。

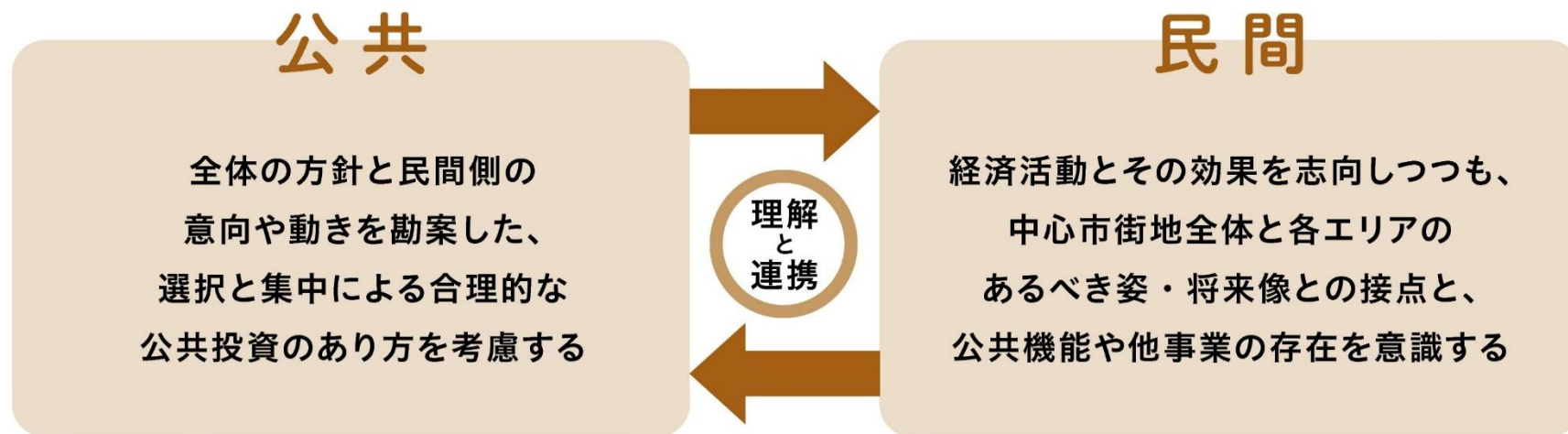
一方で、多くの場合、行政の計画が規制等の確認以外で紐解かれることは少なく、都市計画マスタープランに関しても同様です。そこで、中心市街地デザイン戦略は、中心市街地全体の将来ビジョンだけでなく、市民生活において身近な課題に基づく都市整備のイメージを共有するとともに、即応性が求められる問題への対応を取りまとめ、「**生きた計画**」として**活用されるもの**となることを目指しています。



エリアごとの官民連携の可能性にも言及し、 官民双方が創意工夫に満ちたまちづくりを推進するための指針

長期的な展望を持って都市を再編し、次代にふさわしいまちづくりを進めるためには、公共側は「全体の方針と民間側の意向や動きを勘案した、選択と集中による合理的な公共投資のあり方」を、民間側は「経済活動とその効果を志向しつつも、中心市街地全体と各エリアのあるべき姿・将来像との接点と、公共機能や他事業の存在」を十分に考慮することが求められます。

その上で、お互いの性質の違いを理解し、整合性のあるまちづくりを進めるための方策が必要となります。デザイン戦略は、行政と民間との連携によるまちづくりの将来像の実現に向けた、**官民双方が創意工夫に満ちたまちづくりを推進するための指針**となります。

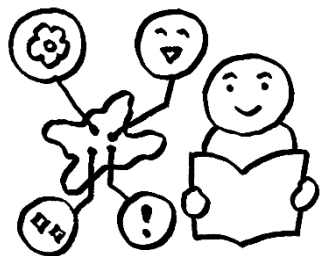


策定の過程から広く公開し、盛岡市の姿勢を周知・啓発する、まちづくりに関する官民の活発な意見交換の「題材」

デザイン戦略は、策定の過程から広く公開され、誰もがアクセスできる資料として、盛岡市民だけでなく、盛岡に関わる人々に「他のエリアとの違いを知った上で地域に則した取組を考えたい」「公共が担うことと民間がなすべきことの間隙や境界を理解したい」「開発に際して市の方針を把握したい」など、目的と手段に応じ、時にアイデア集成として、参考資料として、ベース図として、紐解かれることを想定しています。

盛岡市民

他のエリアではこんな取組があるんだ。自分の地域ではどんな取組をしようかな！



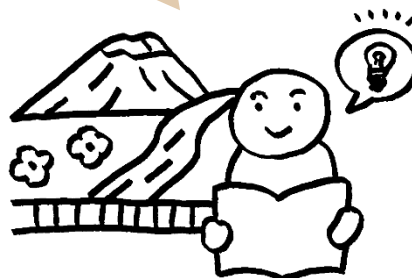
市役所職員

エリアの人の動きや課題感が特定されていたから、地域のニーズに合った計画を立てることができた！



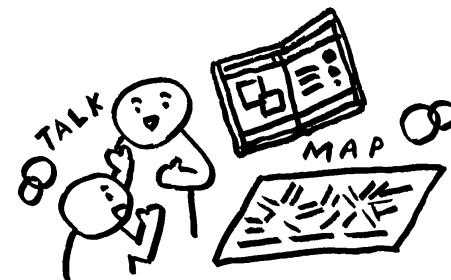
民間事業者

このエリアのこの風景は市民から愛されているらしい。では活かす形で計画を考えてみよう！



学生・起業家

自分の考えていることと同じことをアクションしているエリアに話を聞きにいこう！



(4) 「中心市街地デザイン戦略」の対象区域

「中心市街地デザイン戦略」で対象とするのは、盛岡市立地適正化計画に定める都市機能誘導区域を基にして、大きく分けて「盛岡駅周辺」「大通・菜園」「内丸」「河南」の4つの区域です。中心市街地の都市生活や商業・文化を支え、かつ現時点でまちづくりに関する取り組みが活発と考えられるエリアを対象としています。

エリアの中でも、まちの形質や民間の組織やその取組によってさらに細分化される状況にあることから、下記の16地区に細分化して、検討を進めます。

● 盛岡駅周辺

駅前通り、北上川、材木町

● 大通・菜園

開運橋、大通り、菜園通り、映画館通り

● 内丸

内丸・中央通り、
櫻山・大手先通り、中津川、
※本町通り・寺町

● 河南

紺屋町・葺手町、肴町、
八幡通り、※鉤屋町、
※下ノ橋町・清水町

※中心市街地に隣接し、文化や伝統を育むような民間の取組が活発であるエリアや、中心市街地との連携が考えられるエリアとして、本町通り・寺町、鉤屋町、下ノ橋町・清水町も対象としています。



2.盛岡市中心市街地の特徴と課題

(1)盛岡市中心市街地全体の特徴と課題

盛岡市中心市街地全体の「特徴」

特徴①自然と近世の町割りが活きる都市の骨格

岩手山をはじめとする山々と北上川・中津川の自然を取り込んだ、盛岡城を核とする近世の町割りが都市の骨格の基礎となっている。

特徴②様々な時代の文化を発信する個性のあるエリアと施設・店舗の点在

異なる時代の都市デザインにより形成されてきた個性ある各エリアには、民芸や喫茶、映画や文学など様々な時代・ジャンルの文化を発信する施設や個人経営の店舗が点在している。

特徴③まちづくりに取り組むプレイヤーの層が厚い

各エリアにおいて、民間（商店街組織、企業、NPO法人）によるまちづくりの取組が活発に続けられており、民間同士の連携の動きも見られる。

盛岡市中心市街地全体の「課題」

課題④まちなかの緑やオープンスペースが少ない

都市の骨格となる自然に恵まれている一方、ヒューマンスケールの自然を感じられる空間や、子どもの遊び場や地域活動の場となるようなオープンスペースが少ない。

課題⑤エリア間の回遊性が低い

各エリア間を結ぶ歩行者動線が整っていないため、中心市街地全体の回遊性が低い。また、材木町・鉤屋町など中心部から少し離れた魅力的なエリアへのアクセスがしづらい。

課題⑥景観の保全・形成をはかるための仕組みが不十分

地域資源の保全活用、インフラの維持管理・更新、民間事業者による開発の誘導に関する仕組みが十分でないため、盛岡市民に大切にされてきた景観の保全や、新たな地域の魅力創出をはかる景観の形成が難しい状況となっている。

(2)交通・モビリティに関する特徴と課題

■交通・モビリティに関する特徴

- ・ニューヨークタイムズ紙で2023年に「人混みを避けて歩いて回れる珠玉の街」と紹介され、街歩きが盛んである。

▲交通・モビリティに関する課題

- ・行政・民間の取組の連携が不十分かつエリア間の回遊性が低い。
- ・材木町・鉈屋町など中心部から離れたエリアへのアクセスがしづらい。
- ・バス～他交通手段間の交通結節機能の強化
- ・盛岡駅～盛岡バスセンター間の基幹公共交通軸の形成

●行政の取組

【自動車】

- ① 都心環状道路の設定（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

【公共交通】

- ② 基幹公共交通軸の検討（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

【自転車】

- ③ 盛岡市サイクルルートの設定
- ④ 自転車走行空間の拡充（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

【歩行者回遊】

- ⑤ 歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の指定（「市道盛岡駅前通線」、「県道盛岡停車場線」）
- ⑥ 「歩いて楽しむ中心市街地形成戦略」（歩行者・自転車優先エリアの設定、通過交通の排除等）（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

- ⑦ 菜園通りの道路空間再配分（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）
- ⑧ 都市計画道路下ノ橋南大通線の2車線対面通行化
- ⑨ 都市計画道路本町通天神町線及び都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備（盛岡市「盛岡市都市計画道路整備プログラム」、盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）
- ⑩ 市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等
- ⑪ 中央通り・大手先通りの再整備の検討（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）
- ⑫ 「盛岡市ノスタルジックトリップまち歩きマップ」の作成（盛岡市）

○民間の取組

【公共交通】

- ⑬ 市内循環バス（でんでんむし）の運行
- ⑭ LRTの導入に関する調査検討（もりおか交通まちづくりLRTフォーラム）

【歩行者回遊】

- ⑮ 歩行者天国・道路利活用取組
- ⑯ 回遊マップの作成（各エリア）

【その他のモビリティ】

- ⑰ 馬車運行の社会実験（盛岡馬車みち会議）
- ⑱ ボンネットバスの走行 ※イベント時（もりおか八幡界限まちづくりの会）
- ⑲ 北上川の舟運運航（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）

●取組（行政）

①都心環状道路の設定

●取組（行政）

⑤歩行者利便増進道路の指定

●取組（行政）

⑦菜園通りの道路空間再配分

●取組（行政）

⑥歩行者自転車優先エリアの設定

●取組（行政）

④自転車走行空間の拡充

○取組（民間）

⑨北上川の舟運運航

●取組（民間）

⑬市内循環バスの運行

●取組（行政）

②基幹公共交通軸の検討

●取組（行政）

⑨都市計画道路本町通天神町線及び都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備

●取組（行政）

⑪中央通り・大手先通りの再整備の検討

●取組（行政）

③盛岡市サイクルルートの設定

○取組（民間）

⑰馬車運行の社会実験

○取組（民間）

⑱ボンネットバスの走行

●取組（行政）

⑧都市計画道路下ノ橋南大通線の2車線対面通行化

●取組（行政）

⑩市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等

- 中心市街地範囲
- 歩行者回遊の目的地となるエリア
- 都心環状道路（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 道路再整備が予定・想定されている路線
- 基幹公共交通の検討（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 市内循環バス（でんでんむし）の走行
- 盛岡市サイクルルートの設定
- 自転車走行空間（計画・整備済）（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 歩行者回遊に関する取組が行われている路線
- ボンネットバスの運行 ※イベント時
- 北上川の舟運運航

(3) エリアごとの特徴と課題

●エリアごとの特徴と課題、行政の取組、民間の取組 各地域でおこなわれている特徴・課題・取組と対応する写真を 掲載しています。

●エリアごとの特徴と課題（地図上） 地図上に、エリアの特徴・課題、行政・民間の取組を 図示しています。

駅前通りエリア (えきまえどおり)	特徴と課題	30
■エリアの特徴 - 盛岡の第一印象をつくる玄関口である。 - ホテルや飲食店が集積し観光客やビジネスマンが多い。 ▲エリアの課題 【エリア全体の課題】 - 駅前と木伏緑地・北上川方面との面的な回遊が生まれにくい。 - インパウンド等の観光客の増加に対応した基盤整備が求められている。 【個別の課題】 ①地下道を通して盛岡駅と駅前通りを行き来するルートが分かりづらい。 ②駅前通り北側エリアが、駅前と北上川を結び、駅前を印象づけるエリアになっていない。 ③東口のバスロータリーでバリアフリー化がおこなわれておらず、バスと歩行者が交錯し危険な状況である。 ●行政の取組 ①市道盛岡駅前通線、県道盛岡停車場線における歩行者利便増進道路の指定（岩手県、盛岡市） ②駅前通りへの市産材を使用したストリートファニチャーの設置（YADORIGI PROJECT） ③盛岡駅前自転車駐車場に係る機能移転の検討 ④盛岡駅前南地区地区計画（平成15年3月17日 盛岡市告示第101号）の制定	○民間の取組 ⑤もりおか駅前開運ホコテン（2023-2025）の開催（盛岡駅前商店街振興組合） -交通規制を実施し、駅前通りを歩行者天国化 ⑥盛岡駅前道の広場のイベント活用 -JR盛岡駅まつり（JR東日本） -おもてなしさんさ（盛岡観光コンベンション協会） -いわて酒蔵フェスタ（岩手県酒造組合） ⑦駅前通りのイベント活用 -もりおかイルミネーションブライト -もりおか歴史文化館前広場と肴町商店街と連携したイベント ⑧県道本宮長田町線高架下の活用 -北の民謡市場（盛岡駅前商店街振興組合）	

駅前通りエリア (えきまえどおり)	特徴と課題（地図）	30
○取組（民間） ⑧本宮長田町線高架下の活用 ○取組（民間） ⑤もりおか駅前開運ホコテン（2023-2025）の開催 ⑦駅前通りのイベント活用 ●取組（行政） ①歩行者利便増進道路の指定 ②ストリートファニチャーの設置 ○取組（民間） ⑥盛岡駅前道の広場のイベント活用 ▲課題 ①地下道を通して盛岡駅と駅前通りを行き来するルートが分かりづらい ③東口のバスロータリーでバリアフリー化がおこなわれておらず、バスと歩行者が交錯し危険な状況である。	●取組（行政） ③盛岡駅前自転車駐車場に係る機能移転の検討 ▲課題 ②駅前通り北側エリアに商業施設が少なく、駅前と北上川を結び駅前を印象づけるエリアになっていない。 ●取組（行政） ④盛岡駅前南地区地区計画の制定 ○エリアの特徴 - 盛岡の第一印象をつくる玄関口である。 - ホテルや飲食店が集積し観光客やビジネスマンが多い。 ▲エリアの課題 - 駅前と木伏緑地・北上川方面との面的な回遊が生まれにくい。 - インパウンド等の観光客の増加に対応した基盤整備が求められている。 ※行政・民間の取組には、連携設備のものも含まれます。	



中心市街地ではこんな
取組をしているんだね

1 エリアにつき 2 ページ

訪れたエリアの特徴を
探しに行ってみよう！



■エリアの特徴

- ・盛岡の第一印象をつくる玄関口である。
- ・ホテルや飲食店が集積し観光客やビジネスマンが多い。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ・駅前と木伏緑地・北上川方面との面的な回遊が生まれにくい。
- ・インバウンド等の観光客の増加に対応した基盤整備が求められている。

【個別の課題】

- ① 地下道を通して盛岡駅と駅前通りを行き来するルートが分かりづらい。
- ② 駅前通り北側エリアが、駅前と北上川を結び、駅前を印象づけるエリアになっていない。
- ③ 東口のバスロータリーでバリアフリー化がおこなわれておらず、バスと歩行者が交錯し危険な状況である。

●行政の取組

- ① 市道盛岡駅前通線、県道盛岡停車場線における歩行者利便増進道路の指定（岩手県、盛岡市）
- ② 駅前通りへの市産材を使用したストリートファニチャーの設置（YADORIGI PROJECT）
- ③ 盛岡駅前自転車駐車場に係る機能移転の検討
- ④ 盛岡駅前南地区地区計画（平成15年3月17日 盛岡市告示第101号）の制定

○民間の取組

- ⑤ もりおか駅前開運ホコテン（2023-2025）の開催（盛岡駅前商店街振興組合）
 - 交通規制を実施し、駅前通りを歩行者天国化
- ⑥ 盛岡駅前滝の広場のイベント活用
 - JR盛岡駅まつり（JR東日本）
 - おもてなしさんさ（盛岡観光コンベンション協会）
 - いわて酒蔵フェスタ（岩手県酒造組合）
- ⑦ 駅前通りのイベント活用
 - もりおかイルミネーションブライト
 - もりおか歴史文化館前広場や肴町商店街と連携したイベント
- ⑧ 県道本宮長田町線高架下の活用
 - 北の民謡市場（盛岡駅前商店街振興組合）



○取組（民間）

⑧本宮長田町線高架下の活用

○取組（民間）

- ⑤もりおか駅前開運ホコテン（2023-2025）の開催
- ⑦駅前通りのイベント活用

●取組（行政）

- ①歩行者利便増進道路の指定
- ②ストリートファニチャーの設置

○取組（民間）

⑥盛岡駅前滝の広場のイベント活用

▲課題

- ①地下道を通して盛岡駅と駅前通りを行き来するルートが分かりづらい
- ③東口のバスロータリーでバリアフリー化がおこなわれておらず、バスと歩行者が交錯し危険な状況である。

●取組（行政）

③盛岡駅前自転車駐車場に係る機能移転の検討

▲課題

②駅前通り北側エリアに商業施設が少なく、駅前と北上川を結び駅前を印象づけるエリアになっていない。

●取組（行政）

④盛岡駅前南地区地区計画の制定

■エリアの特徴

- ・盛岡の第一印象をつくる玄関口である。
- ・ホテルや飲食店が集積し観光客やビジネスマンが多い。

▲エリアの課題

- ・駅前と木伏緑地・北上川方面との面的な回遊が生まれにくい。
- ・インバウンド等の観光客の増加に対応した基盤整備が求められている。

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含みます。



■エリアの特徴

- ・開運橋が岩手山への眺望スポットとなっており、かわまちづくりの推進により水辺空間の整備と利活用が行われている。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ・北上川の左岸があまり活用されておらず、エリア全体の面的なにぎわいや回遊も形成されていない。

【個別の課題】

- ① 建物や駐車場が水辺に背を向けており、水辺空間のにぎわいに寄与していない。
- ② 材木町や大通商店街への歩行者動線が分かりづらい。
- ③ 開運橋や北上川の河川敷の歩道が狭く、盛岡を代表する岩手山と北上川の景観を印象的に眺められる場所が少ない。
- ④ 市道開運橋夕顔瀬橋線の横断歩道の危険性や旭橋袂交差点地下道のバリアフリー化に関する市民意見がある。
- ⑤ 盛岡駅前自転車駐車場の老朽化が進んでいる。

●行政の取組

- ① 盛岡市景観計画による景観形成（盛岡市）
 - 眺望景観保全区域（開運橋から岩手山眺望領域）
：建築物等の高さ制限
 - 河川景観保全区域（北上川）
：建築物等の高さ・形態意匠に関する指針及び
建築物等の高さ・色彩・建築設備に関する勧告基準
- ② 盛岡地区かわまちづくり事業の推進（岩手河川国道事務所、盛岡市）
 - 管理用階段、散策路、もりおか港の整備

○民間の取組

- ③ 木伏木伏緑地の整備・活用（ゼロイチキュウ合同会社等）
 - 岩手魅力フェスティバル
 - 木伏音市
- ④ 開運橋花壇の維持管理（開運橋花壇クラブ）
- ⑤ 北上川の舟運運航
（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）
- ⑥ 盛岡駅前自転車駐車場におけるシェアサイクルの実施
- ⑦ 「盛岡・北上川左岸側開運橋袂エリア再整備デザインコンペ」の実施（岩手自動車販売株式会社）



エリアの特徴開運橋から北上川の眺め



個別の課題①北上川左岸



取組（行政）②もりおか港



取組（民間）④開運橋花壇

▲課題

- ④市道開運橋夕顔瀬橋線の横断歩道の危険性や旭橋交差点地下道のバリアフリー化に関する市民意見がある。

▲課題

- ⑤盛岡駅前自転車駐車場の老朽化が進んでいる。

○取組（民間）

- ⑥盛岡駅前自転車駐車場におけるシェアサイクルの実施

●取組（行政）

- ②盛岡地区かわまちづくりの推進

○取組（民間）

- ③木伏緑地の整備・活用

●取組（行政）

- ①盛岡市景観計画による景観形成

▲課題

- ③開運橋や北上川の河川敷の歩道が狭く歩きづらいため、盛岡を代表する岩手山と北上川の景観を印象づける場所が少ない。

▲課題

- ①水辺に背を向けた建物や駐車場が水辺空間のにぎわいに寄与していない。

▲課題

- ②材木町や大通商店街への歩行者動線が分かりづらい。

○取組（民間）

- ④開運橋花壇の維持管理

○取組（民間）

- ⑦アイデアコンペの実施

○取組（民間）

- ⑤北上川の舟運運航

■エリアの特徴

- 開運橋が岩手山への眺望スポットとなっており、かわまちづくりの推進により水辺空間の整備と利活用が行われている。

▲エリアの課題

- 北上川の左岸があまり活用されておらず、エリア全体の面的なにぎわいや回遊も形成されていない。

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組

← - - - - - → : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

0 20 40 60 80 100m N

■エリアの特徴

- 宮沢賢治ゆかりの民芸品店や「いーはとーぶアベニュー」（街路）の整備など、宮沢賢治にちなんだまちづくりが行われている。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 店舗が減少し、平日昼間の人通りが少ない。
- 材木町までのアクセス及び材木町の入り口が分かりにくく、周辺エリアとの接続が弱い。
- 開運橋と夕顔瀬橋を結ぶ水辺空間へのアクセスが分かりづらく、材木町裏石組などの資源を活かし切れていない。

●行政の取組

- 市産材を使用したストリートファニチャーの設置（YADORIGI PROJECT）
- 材木町裏石組の保存建造物への指定（盛岡市）
- 景観重要建造物武田邸の一般公開（盛岡市）
- コミュニティ道路の整備、モニュメントの設置（盛岡市、盛岡市材木町商店街振興組合）

○民間の取組

- 材木町よ市（材木町よ市実行委員会）
 - よ市クラフトピアカーニバル★
 - よ市コーヒーマルシェ
- よ市のマスコットキャラクターの作成（2024年）（材木町よ市実行委員会）
- 材木町商店街駐車場の活用（盛岡市材木町商店街振興組合）

- 材木町渡し船（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）
- 酒買地蔵尊祭の開催（酒買地蔵尊奉賛会）
 - 盛岡市内の蔵元「あさ開」「菊の司」「桜顔」による御堂開きやきき酒コンテスト
- 木材を活用したリノベーション（HITONOKI等）（三田農林株式会社）



●取組 (行政)

- ①市産材を使用したストリートファニチャーの設置
- ④コミュニティ道路の整備

○取組 (民間)

- ⑤材木町よ市
- ⑥歩道へのモニュメントの設置

○取組 (民間)

- ⑧材木町渡し舟

●取組 (行政)

- ②材木町裏石組の保存建造物への指定

■エリアの特徴

- ・宮沢賢治ゆかりの民芸品店や「いーはとーぶアベニュー」(街路)の整備など、宮沢賢治にちなんだまちづくりが行われている。

▲エリアの課題

- ・店舗が減少し、平日昼間の人通りが少ない。
- ・材木町までのアクセス及び材木町の入り口が分かりにくく、周辺エリアとの接続が弱い。
- ・開運橋と夕顔瀬橋を結ぶ水辺空間へのアクセスが分かりづらく、材木町裏石組などの資源を活かし切れていない。

●取組 (行政)

- ③保存建造物武田邸の一般公開

○取組 (民間)

- ⑩木材を活用したリノベーション

○取組 (民間)

- ⑨酒買地蔵尊祭の開催

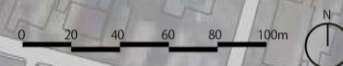
○取組 (民間)

- ⑦材木町商店街駐車場の活用

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組 ← - - - - - → : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



■エリアの特徴

- 盛岡停車場線沿いで、飲食店や古着屋等の個人店が増加している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 開運橋橋詰など、エリアの顔となる空間や滞留スペースが不足している。
- 店舗と街路空間の一体性がない

【個別の課題】

- ① 盛岡停車場線沿いの交差点がエリアを印象づける空間になっていない。
- ② 北上川の水辺空間へアクセスしづらい。

○民間の取組

- ① クロステラス盛岡でのイベント開催・木材利用
(クロステラス盛岡)
-盛岡珈琲フェスティバル
- ② クロステラス盛岡でのフードコートの整備
(クロステラス盛岡)
- ③ 県産材を利用したリノベーション施設の整備
(三田農林株式会社)



▲課題

- ②北上川の水辺空間へアクセスしづらい。

▲課題

- ①盛岡停車場線沿いの交差点がエリアを印象づける空間になっていない。

○取組 (民間)

- ①クロステラス盛岡でのイベント開催・木材利用
- ②クロステラス盛岡でのフードコートの整備

○取組 (民間)

- ③県産材を利用したリノベーション

■エリアの特徴

- 盛岡停車場線沿いで、飲食店や古着屋等の個人店が増加している。

▲エリアの課題

- 開運橋橋詰など、エリアの顔となる空間や滞留スペースが不足している。
- 店舗と街路空間の一体性がない。

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組

← - - - - - → : 民間の取組

桜城小学校

ホテル

盛岡停車場線

クロステラス盛岡

モコプラ

MOSS

MOSS

※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。

0 20 40 60 80 100m



■エリアの特徴

- チェーンの居酒屋やカラオケ等、夜間に営業する若者向けの店舗が集積し、夜の人通りが多い。
- 小売店が減少し、飲食店が増加している。
- 旧河道沿いに飲食店・居酒屋・スナック・バー等が集積している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 建物の老朽化が進み、大規模修繕期を迎える。
- 街路樹や滞留スペースが少ない。
- 地元資本の店舗が減少している。
- 放置自転車が歩道に溢れている。

【個別の課題】

- ① 交差点部の駐車場化により沿道のにぎわいやまちなみが途切れてしまっている箇所がある。

●行政の取組

- ① パーキングチケットの用途転換
 - 旧パーキングチケット帯を利用した荷卸用の駐車帯、自転車駐輪エリア設置（大通り）
 - タクシー駐車帯（亀ヶ池）
- ② 大通り・菜園通りにおける「歩行者・自転車優先エリア」の形成（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）
- ③ 拠点間連絡バスの運行検討（盛岡駅～大通り～盛岡バスセンター）（盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

○民間の取組

- ④ 歩行者天国、イベント開催（盛岡大通商店街協同組合）
 - 大通パラダイス
 - まちなかクラフトフェス
- ⑤ 周辺商店街と連携したイベント開催（もりおかスクエア）
 - もりおかスクエア えびす講
 - 「もりスクチャンネル」でのエリア情報発信
- ⑥ フォーラム盛岡8・9・10の開業（株式会社フォーラム運営委員会、合同会社ZERO.MORI）



●取組（行政）

- ③拠点間連絡バスの運行検討

○取組（民間）

- #### ④歩行者天国、イベント開催

▲ 課題

- ①交差点部の駐車場化により沿道のにぎわいが途切れてしまっている箇所がある。

○取組（民間）

- ⑥フォーラム盛岡
8・9・10の開業

●取組（行政）

- ②大通り・菜園通りにおける
歩行者・自転車優先エリアの形成

※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。



: 課題



：行政の取組



：民間の取組

■エリアの特徴

- ・チェーンの居酒屋やカラオケ等、夜間に営業する若者向けの店舗が集積し、夜の人通りが多い。
- ・小売店が減少し、飲食店が増加している。
- ・旧河道沿いに飲食店・居酒屋・スナック・バー等が集積している。

▲エリアの課題

- ・建物の老朽化が進み、大規模修繕期を迎える。
- ・街路樹や滞留スペースが少ない。
- ・地元資本の店舗が減少している。
- ・放置自転車が歩道に溢れている。

■エリアの特徴

- ・菜園通り沿いで、飲食店や衣料品店等の個人店が増加している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ・駐車場の増加や高層マンション等の開発により沿道のにぎわいが連続しづらい。

【個別の課題】

- ① 菜園通りの歩道が狭く、歩きづらい。
- ② 菜園通り西側の交差点がエリアの顔となる空間になっていない。

●行政の取組

- ① 菜園通りの道路空間再配分
(盛岡市「もりおか交通戦略(第二期)」)
- ② 大通り・菜園通りにおける歩行者・自転車優先エリアの形成
(盛岡市「もりおか交通戦略(第二期)」)
- ③ 都心環状道路の整備(盛岡市「もりおか交通戦略(第二期)」)
- ④ 「盛岡城跡公園から岩手山眺望領域」の設定(盛岡市「盛岡市景観計画」)

○民間の取組

- ⑤ MOSS前オープンスペースやカワトク屋上広場の活用(MOSS, カワトク)

-SORABAビアガーデン

-盛岡クラフトビアフェスティバル

- ⑥ ヘラルボニーによるカワトクへの旗艦店出店
- ⑦ 盛岡という星でBASE STATIONにおける交流人口創出の取組
(「盛岡という星で」プロジェクト)
- ⑧ 路地裏の飲食店のイベント
-盛岡お月見ハシゴ酒祭り(盛岡お月見ハシゴ酒祭り実行委員会)



▲課題

- ①菜園通りの歩道が狭く、歩きづらい。

●取組 (行政)

- ①菜園通りの道路空間再配分
- ②大通り・菜園通りにおける歩行者・自転車優先エリアの形成

○取組 (民間)

- ⑤MOSS前オープンスペースやカワトク屋上広場の活用

●取組 (行政)

- ④景観計画による「盛岡城跡公園から岩手山眺望領域」の設定

■エリアの特徴

- ・菜園通り沿いで、飲食店や衣料品店等の個人店が増加している。

▲エリアの課題

- ・駐車場の増加や高層マンション等の開発により沿道のにぎわいが連続しづらい。

▲課題

- ②菜園通り西側の交差点がエリアの顔となる空間になっていない。

○取組 (民間)

- ⑥ヘラルボニーのカワトクへの旗艦店出店

○取組 (民間)

- ⑦盛岡という星でBASE STATIONにおける交流人口創出の取組

●取組 (行政)

- ③都心環状道路の整備

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組

← - - - - - → : 民間の取組

○取組 (民間)

- ⑧盛岡お月見ハシゴ酒祭り

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

0 20 40 60 80 100m



■エリアの特徴

- 映画館が立地し、映画をテーマにしたまちづくりが行われている。
- ストリートファニチャー（舗装・街灯・ツリーサークル・ハンギングバスケット・フラッグ）が統一されていることで、通りの一体的なイメージ形成を目指している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 空きテナントや駐車場が増加し、映画館通りのにぎわいが低下している。

【個別の課題】

- ① ストリートファニチャーが統一されているものの、映画館通りらしさをアピールするものが少ない。また、舗装やファニチャーの老朽化が進んでいる。

●行政の取組

- ① 映画の街盛岡推進事業（盛岡市）

- 盛岡という星で BASE STATIONにおける「素敵なまちの映画祭」の開催
- 飲食・映画鑑賞セット券の販売

○民間の取組

- ② もりおか座映画祭の開催（2025）（映画のカプロジェクト）



■エリアの特徴

- 映画館が立地し、映画をテーマにしたまちづくりが行われている。
- ストリートファニチャー（舗装・街灯・ツリーサークル・ハンギングバスケット・フラッグ）が統一されていることで、通りの一体的なイメージ形成を目指している。

▲エリアの課題

- 空きテナントや駐車場が増加し、映画館通りのにぎわいが低下している。

▲課題

- ①舗装やファニチャーの老朽化

●取組（行政）

- ①盛岡という星で
BASE STATIONにおける
「素敵なまちの映画祭」
の開催

※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。



■エリアの特徴

- 行政施設が集積し、中央通りの街路樹や沿道建物の公開空地の緑化、日影門緑地や内丸緑地等のまとまった緑地がある。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 行政機能が集積しているが、その他の都市サービス機能に乏しく、市民が日常的に訪れるエリアになっていない。

【個別の課題】

- ① 内丸メディカルセンターの移転に伴う跡地利用の検討及び歴史的建造物の保存活用

●行政の取組

- ① 新市庁舎の整備（盛岡市「盛岡市新市庁舎整備基本構想」）
- ② 四季を感じられるヒューマンスケールの居心地よい場の整備（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）
- ③ 中央通りにおける、栃木並木、石畳、クランク部分、公会堂等の沿道資源を活かした空間構成の検討（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）
- ④ 中央通りと大手先通り・中津川の交点を、人と交通が集まる結節点としてデザイン（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）
- ⑤ 亀ヶ池、鶴ヶ池の水質浄化、周辺整備（盛岡市「お城を中心としたまちづくり計画」「史跡盛岡城跡整備基本計画」「史跡盛岡城跡保存活用計画」）
- ⑥ 岩手県公会堂における「いわて若者カフェ」の設置（岩手県）

○民間の取組

- ⑦ さんさ踊りの開催（盛岡さんさ踊り実行委員会）
- ⑧ 岩手県公会堂でのイベント開催
 - 北のクラフトフェア
 - ブックイベント「モリプロ」
- ⑨ 鶴ヶ池での生態系維持の取組
 - 大ザリガニ釣り大会（グリーン・スマイル☆キッズ）



エリアの特徴 中央通り



エリアの特徴 岩手県公会堂



エリアの特徴 石割桜



取組（民間）⑦さんさ踊り

- 行政施設が集積し、中央通りの街路樹や沿道建物の公開空地の緑化、日影門緑地や内丸緑地等のまとまった緑地がある。

- 行政機能が集積しているが、その他の都市サービス機能に乏しく、市民が日常的に訪れるエリアになっていない。

③中央通りにおける、栃木並木、石畳、クランク部分、公会堂等の沿道資源を活かした空間構成の検討

⑦さんさ踊りの開催

①内丸メディカルセンターの移転に伴う跡地
利用の検討及び歴史的建造物の保存活用

④中央通りと大手先通り・
中津川の交点を、人と交通
が集まる結節点として
デザイン

⑥「いわて若者カフェ」の設置

⑧岩手県公会堂でのイベント開催

⑤亀ヶ池・鶴ヶ池の水質浄化、周辺整備

⑨鶴ヶ池での生態系維持の取組

← - → [] : 課題



 : 行政の取組
 

 : 民間の取組

※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。



■エリアの特徴

- 櫻山神社や櫻山横丁、上ノ橋観光駐車場の石灯籠跡、上の橋の青銅擬宝珠、緑の広場、上の橋際のイチョウ等の歴史・自然資源が豊富である。
- 東大通商店街・櫻山横丁には、個性的な飲食店・雑貨屋が集積している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 櫻山神社周辺のにぎわいが南北に波及していない。
- 櫻山横丁では、オーナーの高齢化や建物の老朽化が進んでいる。

【個別の課題】

- ① 大手先通りのエリアイメージが不明瞭であり、盛岡城の正面の道であったことが感じられにくい。
- ② 緑の広場が周辺に対して閉じた印象で、川・まちとのつながりが弱い。
- ③ 景観重要樹木のイチョウの木が根上がりしており、高齢化が進んでいる。

●行政の取組

- ① 旧奥州道中からお城の正門につながる 歴史軸をより意識した沿道を検討（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）

○民間の取組

- ② 内丸ジャズ、桜山オープンカフェの実施（東大通商業振興会）
- ③ 櫻山神社境内でのイベント開催
- 節分祭
- 櫻山神社例大祭
- ④ 櫻山横丁の道路空間活用（2020,2021）（サクヨコ実行委員会）
- ⑤ さけの赤ちゃん放流会の実施（-2024）（盛岡本町振興会）
- ⑥ 歩行者天国イベント「大きなイチョウの木の下で」の実施（2025）（盛岡本町振興会）
- ⑦ 北ホテルのギャラリー活用（北ホテル）



エリアの特徴 上ノ橋



エリアの特徴 緑の広場



エリアの特徴 櫻山横丁



取組（民間）⑥
大きなイチョウの木の下で

▲課題

- ①大手先通りが中央通りで切れており、盛岡城の正面の道であったことが感じられにくい。

●取組（行政）

- ①旧奥州道中からお城の正門につながる歴史軸をより意識した沿道を検討

○取組（民間）

- ⑦北ホテルのギャラリー活用

■エリアの特徴

- ・櫻山神社や櫻山横丁、上ノ橋観光駐車場の石灯籠跡、上の橋の青銅擬宝珠、緑の広場、上の橋際のイチョウ等の歴史・自然資源が豊富である。
- ・東大通商店街・櫻山横丁には、個性的な飲食店・雑貨屋が集積している。

▲エリアの課題

- ・櫻山神社周辺のにぎわいが南北に波及していない
- ・櫻山横丁では、オーナーの高齢化や建物の老朽化が進んでいる。

- ← - - - → [] : 課題
← - - - → [] : 行政の取組
← - - - → [] : 民間の取組

▲課題

- ②緑の広場が周辺に対して閉じており、川・まちとの接続が弱い。

○取組（民間）

- ⑤さけの赤ちゃん放流会の実施（-2024）

○取組（民間）

- ⑥歩行者天国イベント「大きなイチョウの木の下で」（2025）

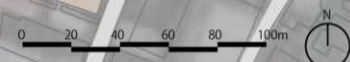
▲課題

- ③景観重要樹木のイチョウの木が根上がりしており、高齢化が進んでいる。

○取組（民間）

- ②内丸ジャズ、桜山オープンカフェの実施
- ③櫻山神社境内でのイベント開催
- ④櫻山横丁の道路空間活用

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含みます。



■エリアの特徴

- かつての盛岡城下の目貫通りとして、歴史のある店舗や建物が点在、文化財を有する寺院群がある。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 車通りが多い一方、歩行空間が確保されていない。
- セットバックや駐車場の増加により街並みが連続していない。
- 本町通りと寺町を結ぶルートが少なく、回遊がしづらい。

●行政の取組

- ① 盛岡市サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）
- ② 都市計画道路本町通天神町線及び都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備（盛岡市「盛岡市都市計画道路整備プログラム」、盛岡市「もりおか交通戦略（第二期）」）

○民間の取組

- ③ 本町界隈散策マップの作成（盛岡本町振興会）
- ④ 寺院を活用したイベントの実施
- 夜行書店、クリスマスコンサート、大菩薩マーケットの実施（専立寺）



エリアの特徴 本町通り沿いの建物



エリアの特徴 寺町



エリア全体の課題
歩行空間の未整備



取組（民間）③
本町界隈散策マップ

■エリアの特徴

- かつての盛岡城下の目貫通りとして、歴史のある店舗や建物が点在、文化財を有する寺院群がある。

▲エリアの課題

- 車通りが多い一方、歩行空間が確保されていない。
- セットバックや駐車場の増加により街並みが連続していない。
- 本町通りと寺町を結ぶルートが少なく、回遊がしづらい。

●取組（行政）

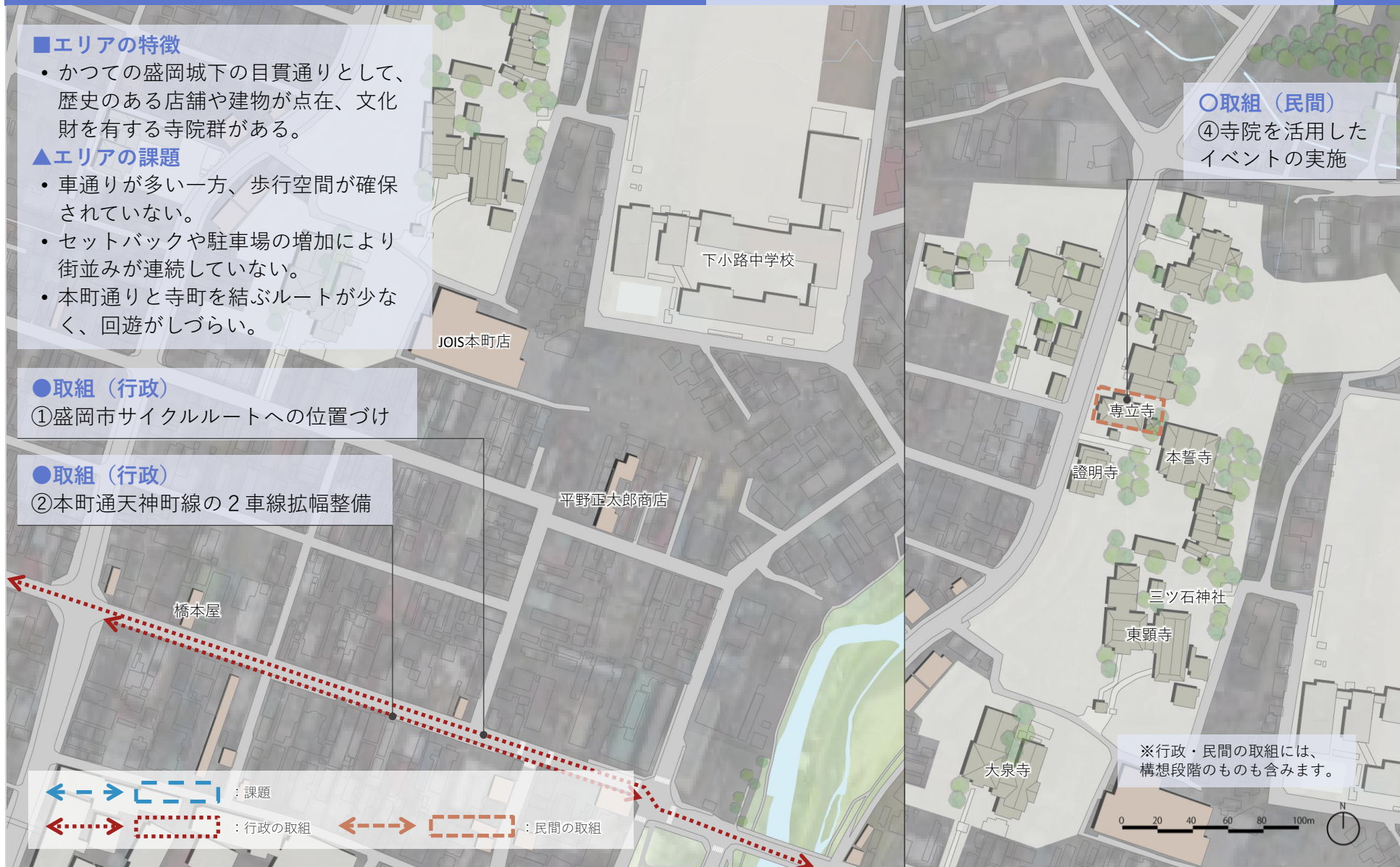
- ①盛岡市サイクルルートへの位置づけ

●取組（行政）

- ②本町通天神町線の2車線拡幅整備

○取組（民間）

- ④寺院を活用したイベントの実施



※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。

■エリアの特徴

- 盛岡を象徴する河川である中津川は、ヒューマンスケールの市民に身近な水辺空間であり、河川敷では川遊びや釣りをする人が見られる。
- 上の橋、与の字橋、中の橋の橋詰周辺には、広場・緑地が整備されている。
- 大正元年11月に完成した護岸が象徴的な景観を形成している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 橋詰広場と周辺街路との接続が弱く、中津川沿いの遊歩道へアクセスしづらい。
- 水辺と行き来する上下動線の位置が分かりづらく、水辺に近づきづらい。
- まちから水辺にアクセスできる動線が少ない。
- 川に背を向けた建物や駐車場により、水辺とまちの接続が弱い。

●行政の取組

- 盛岡市景観計画における景観形成
 - 眺望景観保全区域（与の字橋から愛宕山眺望領域）
：建築物等の高さ制限
 - 河川景観保全区域（中津川）：建築物等の高さ・形態意匠に関する指針及び建築物等の高さ・色彩・建築設備に関する勧告基準
- かわとまちが一体となった親水空間の整備（盛岡市「内丸地区再整備基本計画」）
- 中津川周辺へのオープンカフェの設置（盛岡市「盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会における候補事業」）
- 「なかのはし1-1ひろば」の設置（2024）（盛岡市）

- 盛岡城跡公園での「盛岡さくらまつり」の開催（盛岡市）

○民間の取組

- 盛岡城跡公園でのイベント開催
 - 北のクラフトフェア
 - いしがきMUSICFESTIVAL
 - もりおか内丸CHRISTMAS MARKET
 - IWATE COFFEE FESTIVAL
- 盛岡地区かわまち勉強会の開催
- 駐車場の利活用
 - ファーマーズマーケット「1ノ1の市」



●取組 (行政)

- ③中津川周辺へのオープンカフェの設置 (候補事業)

●取組 (行政)

- ④「なかのはし 1 - 1 ひろば」の設置

○取組 (民間)

- ⑧駐車場の利活用

●○取組 (行政) (民間)

- ⑤⑥盛岡城跡公園でのイベント開催

●取組 (行政)

- ①盛岡市景観計画における景観形成

■エリアの特徴

- ・盛岡を象徴する河川である中津川は、ヒューマンスケールの市民に身近な水辺空間であり、河川敷では川遊びや釣りをする人が見られる。
- ・上の橋、与の字橋、中の橋の橋詰周辺には、広場・緑地が整備されている。
- ・大正元年11月に完成した護岸が象徴的な景観を形成している。

▲エリアの課題

- ・橋詰広場と周辺街路との接続が弱く、中津川沿いの遊歩道へアクセスしづらい。
- ・水辺と行き来する上下動線の位置が分かりづらく、水辺に近づきづらい。
- ・まちから水辺にアクセスできる動線が少ない。
- ・川に背を向けた建物や駐車場により、水辺とまちの接続が弱い。

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組

← - - - - - → : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

0 20 40 60 80 100m



■エリアの特徴

- ・紺屋町の通り沿いに、岩手銀行赤レンガ館やござ九、盛岡信用金庫本店や紺屋町番屋等、歴史的建造物が立ち並んでいる。
- ・市外からの移住者による古着屋やセレクトショップ等の店舗が増えている。（ミナペルホネン等）

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ・マンション開発や駐車場整備によりエリアの街並みが変化しており、一部の住民は、マンション建設に対して不安を抱いている。

●行政の取組

- ① 紺屋町番屋のリニューアルオープン（2022）（盛岡市）
- ② 紺屋町のコミュニティ道路整備・無電柱化
（盛岡市「盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会における候補事業」）

○民間の取組

- ③ 紺屋町かいわいスタンプラリー（紺屋町かいわい街並み協議会）
- ④ 葺手町こみち、葺手町市（葺手町商店会）
-道路占用に関するコロナ特例を活用した道路空間の活用
- ⑤ 岩手銀行赤レンガ館における各種イベント開催
-コンサート、クラフト市
- ⑥ 川とまちをつなぐ建物の整備



●取組（行政）

- ②紺屋町のコミュニティ道路整備・無電柱化（候補事業）

○取組（民間）

- ### ⑥川とまちをつなぐ建物の整備

●取組（行政）

- ## ①紺屋町番屋のリニューアルオープン

○取組（民間）

- #### ④葺手町こみち、葺手町市の開催

○取組（民間）

- ⑤岩手銀行赤レンガ館に
おける各種イベント開催



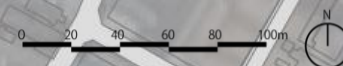
■エリアの特徴

- ・紺屋町の通り沿いに、岩手銀行赤レンガ館やござ九、盛岡信用金庫本店や紺屋町番屋等、歴史的建造物が立ち並んでいる。
- ・市外からの移住者による古着屋やセレクトショップ等の店舗が増えている。（ミナペルホネン等）

▲エリアの課題

- マンション開発や駐車場整備によりエリアの街並みが変わっており、一部の住民は、マンション建設に対して不安を抱いている。

※行政・民間の取組には、
構想段階のものも含まれます。



■エリアの特徴

- ・食料品や日用品の店舗など、日常的に利用する店舗が集積している。
- ・若い世代による古着や雑貨等の店舗が増えている。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ・全蓋式アーケードの老朽化が進んでいる。
- ・アーケード南側で空き店舗が増加している。
- ・子どもが遊べる場所が少ない。
- ・買い物中に休憩できる場所が少ない。

●行政の取組

- ① 賜松園緑地の公開（盛岡市）
- ② 肴町商店街や中津川周辺へのオープンカフェ設置やコミュニティ施設の整備（盛岡市盛岡バスセンター周辺地区公民連携まちづくり勉強会における候補事業）

○民間の取組

- ③ アーケード内への滞留スペース設置（monaka）
- ④ 歩行者天国、イベント開催（盛岡市肴町商店街振興組合）
 - 七夕祭り、ハロウィーン
 - 路上ライブイベント「Snack Jack」
 - 肴町ナイトマーケット、肴町昼市
 - 肴町こどもフェスティバル
- ⑤ アーケード内へのファニチャーの設置（肴町ベンチプロジェクト）（盛岡市肴町商店街青年部）

- ⑥ 盛岡バスセンターでのイベント等実施（盛岡ローカルハブ株式会社）

- 屋上ビアガーデン「BUS BEER」
- ジャズフェスティバル「BUS JAZZ」
- レンタルサイクルの貸し出し
- ホテルフロントで河南エリアの紹介

- ⑦ 盛岡しょうが市（盛岡しょうが市実行委員会）
- ⑧ 商店街周辺でのリノベーションの取組（十三日）



エリアの特徴
肴町商店街アーケード



エリア全体の課題
肴町商店街の空き店舗



取組（行政）①
賜松園緑地



取組（民間）③ monaka



取組（民間）④ 七夕祭り



取組（民間）⑤
ファニチャーの設置



取組（民間）⑥
盛岡バスセンター



取組（民間）⑥
BUS JAZZ



取組（民間）⑧
リノベーションの取組

■エリアの特徴

- ・食料品や日用品の店舗など、日常的に利用する店舗が集積している。
- ・若い世代による古着や雑貨等の店舗が増えている。

▲エリアの課題

- ・全蓋式アーケードの老朽化が進んでいる。
- ・アーケード南側で空き店舗が増加している。
- ・子どもが遊べる場所が少ない。
- ・買い物中に休憩できる場所が少ない。

●取組 (行政)

- 肴町商店街や中津川周辺へのオープンカフェ設置やコミュニティ施設の整備 (候補事業)

○取組 (民間)

- アーケード内へのファニチャー設置

○取組 (民間)

- 盛岡バスセンターでのイベント等実施

○取組 (民間)

- アーケード内への滞留スペース設置

○取組 (民間)

- 盛岡しょうが市

●取組 (行政)

- 賜松園緑地の公開

○取組 (民間)

- 商店街周辺でのリノベーションの取組

-  : 課題
 : 行政の取組
 : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含みます。



■エリアの特徴

- 盛岡八幡宮の参道である八幡通り沿いに、遊郭の名残がある建造物や、八幡通りとつながる生姜町には伝統工芸の南部鉄器の店が点在している。
- 居酒屋やスナック等が集積している。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 駐車場の増加により沿道のにぎわいが連続しておらず、盛岡八幡宮まで遠く感じる。
- 中心市街地の外縁部に位置し、周辺との連携が弱いため、中心市街地から回遊しづらい。

●行政の取組

- ① 盛岡サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）

○民間の取組

- ② 盛岡有楽町街のリノベーション
- ③ 町家風のカフェや物販施設の整備（株式会社カガヤ）
- ④ 町家のリノベーション（盛岡八幡家守舎）
- ⑤ 歩行者天国イベント、ぽんぽこ市、八幡ともしび横丁の開催（もりおか八幡界隈まちづくりの会）
- ⑥ もりおかSUMMERガーデン（もりおかSUMMERガーデン実行委員会）
- ⑦ 盛岡秋まつり八幡下りパレード（盛岡観光コンベンション協会）
- ⑧ もりおか八幡はしご酒祭り（もりおか八幡はしご酒祭り実行委員会）



○取組 (民間)

- ②盛岡有楽町街のリノベーション

●取組 (行政)

- ①盛岡サイクルルートへの位置づけ

○取組 (民間)

- ⑤歩行者天国イベント、ぽんぽこ市、八幡ともしび横丁の開催
⑥もりおかSUMMERガーデンの実施
⑦盛岡秋まつり八幡下りパレード
⑧もりおか八幡はしご酒まつり

○取組 (民間)

- ④町家のリノベーション

○取組 (民間)

- ⑥もりおかSUMMERガーデンの実施

■エリアの特徴

- 盛岡八幡宮の参道である八幡通り沿いに、遊郭の名残を残す建造物や伝統工芸（南部鉄器）の店が点在している。
- 居酒屋やスナック等が集積している。

▲エリアの課題

- 駐車場の増加により沿道のにぎわいが連続しておらず、盛岡八幡宮まで遠く感じる。
- 中心市街地の外縁部に位置し、周辺との連携が弱いため、中心市街地から回遊しづらい。

← - - - - - → : 課題

← - - - - - → : 行政の取組

← - - - - - → : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

0 20 40 60 80 100m

盛岡八幡宮

■エリアの特徴

- 南昌荘や旧石井県令邸等、文化財や歴史のある建物が点在している。
- 大通商店街方面から鉾屋町方面への回遊の中継地点となる。
- 病院の建て替え・跡地利用等、民間施設の新設更新が見込まれる。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 目的性のある施設が点在しており、アクセスが分かりづらいため、エリアの拠点性が低い。
- 都市計画道路下ノ橋南大通線が一方通行である。

●行政の取組

- ① 盛岡市サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）
- ② 旧肴町分庁舎、旧とりょう保育園の土地売却の検討（盛岡市）
- ③ 都市計画道路下ノ橋南大通線の整備（2車線対面通行化）
- ④ 景観計画による「盛岡城跡公園から南昌山眺望領域」の設定（盛岡市景観計画）

○民間の取組

- ⑤ 南昌荘でのイベント開催
 - 南昌荘のひなまつり
 - 南昌荘の紅葉の庭園ライトアップ
- ⑥ 旧石井県令邸のギャラリー活用
- ⑦ 遠山病院の建て替え（遠山病院）
- ⑧ 「新渡戸通り」の愛称、看板の設置（下ノ橋町内会、盛岡市）



エリアの特徴 南昌荘



エリアの特徴 旧石井県令邸



エリアの特徴 賢治の清水



取組（民間）⑦ 遠山病院

●取組（行政）

- ④景観計画による「盛岡城跡公園から南昌山眺望領域」の設定

○取組（民間）

- ⑧「新渡戸通り」の愛称看板の設置

●取組（行政）

- ③都市計画道路下ノ橋南大通線の整備

○取組（民間）

- ⑦遠山病院の建て替え

○取組（民間）

- ⑥旧石井県令邸のギャラリー活用

○取組（民間）

- ⑤南昌荘でのイベント開催

●取組（行政）

- ②旧肴町分庁舎、旧とりょう保育園の土地売却

●取組（行政）

- ①盛岡市サイクルルートへの位置づけ

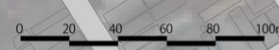
■エリアの特徴

- ・南昌荘や旧石井県令邸等、文化財や歴史のある建物が点在している。
- ・大通商店街方面から鉾屋町方面への回遊の中継地点となる。
- ・病院の建て替え・跡地利用等、民間施設の新設更新が見込まれる。

▲エリアの課題

- ・目的性のある施設が点在しており、アクセスが分かりづらいため、エリアの拠点性が低い。
- ・都市計画道路下ノ橋南大通線が一方通行である。

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含みます。



■エリアの特徴

- 城下の玄関口の歴史文化を伝える町家等の古い町並みや湧水等の地域資源が残っており、住民等による保全・活用の取組が盛んである。
- 昔ながらの商店に加え、ものづくりの工房等の新規開業もみられる。

▲エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 盛岡駅など中心市街地の交通の核となる場所から離れているため、アクセスが分かりづらい。
- 景観計画策定から10年以上が経過し、街並みの維持が難しくなっている。

●行政の取組

- ① 新山河岸の整備
- ② 大慈寺地区景観地区、大慈寺地区地区計画の指定
- ③ 市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等景観重要建造物（明治橋際の御蔵、浜藤の酒蔵）の保存活用

○民間の取組

- ⑤ 町家等の歴史的建造物の保存活用、イベント（盛岡まち並み塾）
 - 「大慈清水御休み処」案内所・喫茶営業、スペース貸し
 - 盛岡町家旧暦の雛祭り、お盆迎え火・黒川さんさ門付け、街並み修景フォーラム、御蔵のおひな様（下町資料館、御蔵管理委員会）
- ⑥ マップや広報の作成配布（盛岡まちなみ塾）
 - ぶらり鉤屋町マップ、盛岡市鉤屋町界限魅力ガイド＆散策ルートマップ

- ⑦ 徳清倉庫の活用（徳清倉庫）
- ⑧ もりおか町家物語館でのイベント開催
- ⑨ あさ開でのイベント開催、建物活用
 - 新酒祭りの開催、地酒物産館の営業
 - ホームスパン工房「みちのくあかね会」の移転開業
- ⑩ 町家や蔵などの改修・活用（三田農林株式会社）
 - ゲストハウス「ととと」
- ⑪ 寺院の活用
 - 久昌寺での寺ヨガの開催（久昌寺）
 - 大慈寺での原敬追悼会開催等（原敬を想う会）
 - 大慈寺でのお盆舟っこ流し製作（鉤屋町町内会）



エリアの特徴
町家の街並み



エリアの特徴
大慈清水



エリアの特徴
青龍水



エリアの特徴
景観重要建造物（川鉄）



取組（民間）⑤
大慈清水御休み処



取組（民間）⑤
お盆迎え火



取組（民間）⑤
黒川さんさ門付け



取組（民間）⑥
ぶらり鉤屋町マップ



取組（民間）⑦
徳清倉庫

■エリアの特徴

- ・城下の玄関口の歴史文化を伝える町家等の古い町並みや湧水等の地域資源が残っており、住民等による保全・活用の取組が盛んである。
- ・昔ながらの商店に加え、ものづくりの工房等の新規開業もみられる。

▲エリアの課題

- ・盛岡駅など中心市街地の交通の核となる場所から離れているため、アクセスが分かりづらい。
- ・景観計画策定から10年以上が経過し、街並みの維持が難しくなっている。

○取組 (民間)

⑩町家や蔵の改修

○取組 (民間)

⑪寺院の活用

○取組 (民間)

⑨あさ開でのイベント開催

○取組 (民間)

⑧もりおか町家物語館でのイベント開催

●取組 (行政)

①新山河岸の整備

○取組 (民間)

⑦徳清倉庫の活用

●取組 (行政)

③市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等

●取組 (行政)

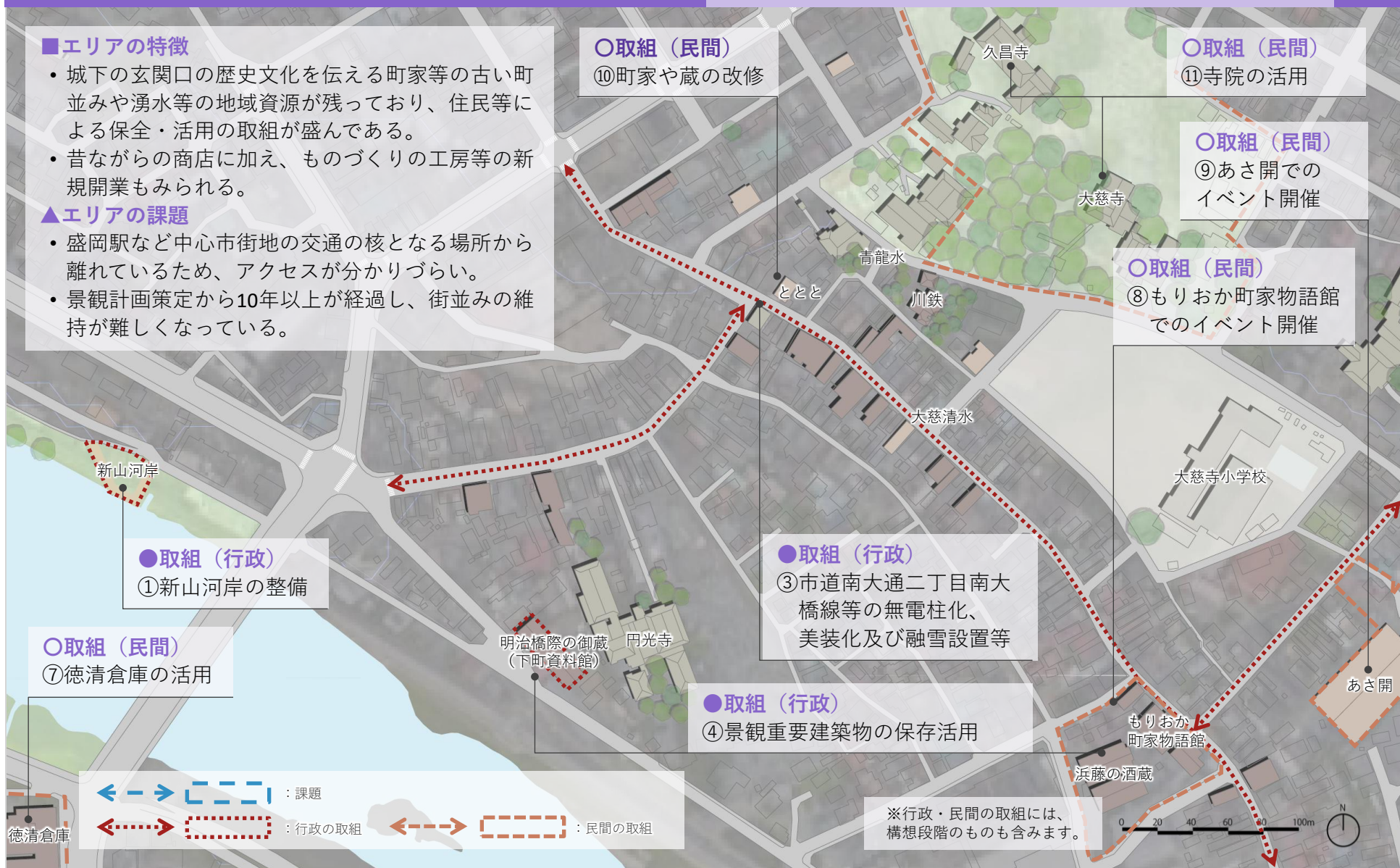
④景観重要建築物の保存活用

← → : 課題

← → : 行政の取組

← → : 民間の取組

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含みます。



3.盛岡市中心市街地の将来ビジョン

(1)盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン

方針①

自然を取り込んだ都市の骨格を感じられる景観形成

街から山への眺望や川辺空間、近世町割りを活かすことで、自然を取り込んだ盛岡の都市骨格を日常で感じられるまちづくりを進める。

方針②個性あるエリアの魅力の継承・発展

地域資源の発掘・活用を通して各エリアの個性を伸ばしていくとともに、それぞれの店舗が創り出す細やかな文化に触れられるよう、魅力的な情報発信をおこなっていく。

方針③官民・エリア間の連携を促進する体制の構築

官民・エリア間の連携を促進し、盛岡のまちづくりに興味のある市民や事業者がまちづくりの取組にアクセスできるよう、官民連携の体制や、(※1) エリアマネジメント体制の構築を進める。

方針④まちなかの緑やオープンスペースの創出

自然や地域資源を活かしたオープンスペースを整備することで、まちなかの潤いを増やし、心地よく過ごせる地域の活動の場を増やしていく。

方針⑤歩行者中心の街路空間形成・モビリティ導入による回遊性向上

(※2)道路空間再配分等による歩行者中心の街路空間形成や、バス・自転車等の既存のモビリティの利便性向上、各エリアを結ぶ回遊の拠点となる
(※3)モビリティハブの整備、新たな低速モビリティ等の導入により、徒歩や公共交通、その他のモビリティを乗り換えながら楽しく巡れるようにする。

方針⑥景観の維持・形成をはかるルールづくり

景観の維持・保全に関するルールや体制づくりを進め、盛岡市民に大切にされてきた景観や地域資源を市内外に共有・発信していく。

用語解説

※1 エリアマネジメント：特定の地域やエリアにおける社会課題の解決やエリア価値の維持・向上を目的として、居住者や事業主、地権者等による主体的な活動も含め、官民一体で進めていく取組

※2 道路空間再配分：道路の機能に対して与えられている空間の配分を変更し、限られた空間を有効活用すること

※3 モビリティハブ：公共交通やシェアモビリティ等複数のモビリティの乗り換えの拠点

中心市街地全体の将来ビジョン

65

駅前通りエリア

盛岡の玄関口として、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡のエントランスエリアの形成を目指します。

北上川エリア

北上川の水辺空間を活かし、駅前周辺と大通り方面をつなぐ拠点形成を目指します。

材木町エリア

個性的な店舗やよ市などを活かし、まちなか観光や周遊の目的地となるエリア形成を目指します。

開運橋エリア

駅前周辺と大通りの人の流れをつなぐ結節点となるエリア形成を目指します。

大通りエリア

市内中心部の代表的な商業エリアとして、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

菜園通りエリア

駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

映画館通りエリア

映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

内丸・中央通りエリア

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

本町通り・寺町エリア

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、大手先通りから寺町への回遊性をつなげるエリアの形成を目指します。

櫻山・大手先通りエリア

風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、各方面へと回遊性をつなげるエリアの形成を目指します。

中津川エリア

中津川とまちが一体となり、四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的な親水エリアの形成を目指します。

紺屋町・葺手町エリア

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設を活かし、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめるエリア形成を目指します。

肴町エリア

生活に密着した商店街として、住民活動や民間事業のチャレンジの場、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

八幡通りエリア

町家が並ぶ盛岡八幡宮の参道として、歴史を活かし、周辺エリアとの回遊性を生むエリアの形成を目指します。

鉾屋町エリア

歴史的な街並み景観を活かし、周辺エリアとの接続を強化し、中心市街地の回遊ルートに位置付けることを目指します。

材木町エリア

北上川エリア

開運橋エリア

大通りエリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

内丸・中央通りエリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

中津川エリア

肴町エリア

八幡通りエリア

下ノ橋町・清水町エリア

下ノ橋町・清水町エリア

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源を活かし、大通商店街方面と鉾屋町方面への回遊をつなげるエリアの形成を目指します。

鉾屋町エリア



計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見 ○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 変えずともいい部分は変えず、変えることで市民や観光客が使いやすい町の機能へしていくことが大切だと思いますので、盛岡市さんのリーダーシップに大いに期待しています。（○）
- ✓ グレーで塗りつぶされてしまっているエリア内の地権者や建物所有者、自営業者と、さらにはそこに暮らすサラリーマン住民へもAGORAへの積極参加を求めるべきだと思う。（○）
- ✓ 盛岡市は市街地だけではなく、合併した歴史もあり産業も幅広いので、より多くの方が関心をもって、身近に感じてもらえるよう、丁寧に進めていただきたい。（○）
- ✓ 地道な取り組み方に盛岡らしさが垣間見え良かった。全盛岡市民がこのデザイン戦略に関われるよう長期的な展望を持ち進めていけたらいいと思いました。（◇）
- ✓ 是非、このような取組を続けてほしい。都市機能が徐々に盛南地区に行きがちであるが、中心市街地をみんなで考えること、素敵に保全・活性化しながら暮らしを引き継いでいくことがとても重要だと思います。まちづくりとは、未来を考えていくことだというお話が印象に残りました。現状の課題解決と少し先の未来を考えながらまちづくりに関わっている方々は、盛岡の財産だと感じました。（◇）
- ✓ 市民一人ひとりの心に火を灯し、当事者意識を育むには、「私たちの街がこう変わるんだ」と直感的に理解できる、身近で具体的な事例が不可欠だと思う。（◇）
- ✓ 市民参加を促すのであれば、もっと積極的な情報発信を行うべきだと思う。（◇）
- ✓ 盛岡は突出した特徴があるというよりは、総合的によい町だと感じる。暮らしていて立ち寄れる良いお店がある。昔からのお店が多く、歴史的な連続性があることは大事にすべきである。（☆）
- ✓ 盛岡は水と緑と建築物のバランスが良い。身近に中津川や北上川、雫石川があり、川沿いからは岩手山や姫神山、南昌山が見えて、まちなかに店が点在し、緑や雪等の季節による変化が感じられる様子が魅力である。景観のルールづくりに関しては、高さ制限やファサードの統一等のルールづくりよりも、個性的な事業者がお店を開きたいという気持ちになることが大切だと考えている。（☆）
- ✓ 盛岡市内の人が出店する場合は、互いに顔見知りであり共通認識ができているため、自然と品の良い雰囲気生まれるが、外部から参入する事業者とは共通認識がつかれていない。街並みのルールをつくり事業者に対して意見を出せる場が必要かもしれない。（☆）
- ✓ エリアごとの特徴が明確になれば、新たに出店するテナントに対して適したエリアを誘導することができる。（☆）
- ✓ 知っている人は知っているという状態ではなく、一度皆が知っている状態にすると次の考えやアクションが生まれると思う。（☆）
- ✓ 現在のまちの景観は、非常に危うい状態で保たれていると思う大切に思われている市民の宝物について事前に状況を把握しておくことが重要だと思う。（☆）

(2) 交通・モビリティに関する将来ビジョン

■交通・モビリティのまちづくり方針（案）

「もりおか交通戦略（第二期）」（令和3年9月策定）に基づく道路空間再配分や既存の回遊ルートと、「中心市街地デザイン戦略」で検討する16エリアにおけるまちづくりの取組を連携させることにより、

個性あるエリア間の回遊性を強化し、徒歩や公共交通、その他のモビリティを乗り換えながら楽しく巡れる中心市街地の形成を目指します。

①エリア間の接続強化（提案）

- 既存の行政・民間の取組（ほこみち指定・歩行者天国等）を活かし、街路や公園・広場などの公共空間の再整備・利活用や、回遊の目的地となる民間施設の整備を通して、個性ある各エリアの接続を強化し、中心市街地全体の回遊性を創出することを目指します。

②自転車回遊ルートの拡充に向けた検討（提案）

- 既存の自転車走行空間整備及びサイクルルートの設定を活かし、新たに道路整備が予定されている菜園通り（岩手公園開運橋線）及び、中央通り（県道盛岡横手線）の道路空間再配分等と連携して、まちづくりが進む各エリアを結ぶ自転車回遊ルートの形成を目指します。

③周辺エリアと回遊性を生むモビリティの検討（提案）

- 既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど

個性的なモビリティの運行を検討し、中心市街地外縁部にあたるエリア（本町通り・寺町エリア、鉾屋町エリア、下ノ橋町・清水町エリア）へのアクセスの強化を検討します。

④モビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 道路整備や公園再整備、民間施設の再編を機に各モビリティの乗り換え地点となるモビリティハブの整備を検討し、中心市街地の各エリア間の回遊性の向上に寄与します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 自家用車より歩行者・自転車・公共交通優先のまちにしていきたい。これからの時代に地方都市として存続していくためには、自家用車の所有率・分担率を減らす必要があると思う。（○）
- ✓ 歩行者や高齢者、車椅子の利用者などが移動しやすい歩行者空間整備を充実させてほしい。（○）
- ✓ 盛岡駅の機能強化と中心市街地への自家用車流入量削減を、歩行者空間整備、自転車走行空間整備等の他施策と連動して進めたほうが良い。（○）
- ✓ 循環バスを活かすため、中心市街地にバス専用道やバス優先レーン、バス優先信号を導入してはどうか。（○）
- ✓ 中心市街地から1 km程度の範囲で馬車等のスローモビリティを活用することで、ゆとりのある観光ができると考えている。（☆）

材木町エリア・鉈屋町エリアを舟運ルートの拠点とし、アクセス強化と回遊性の向上を図る。

将来的な道路整備が予定される中央通り・菜園通りや回遊の目的地となる紺屋町を自転車回遊ルートに位置付ける。

基幹公共交通（幹線系）のルートについて、将来的な道路整備、歩行者回遊や自転車・その他モビリティとの乗り換えの観点から継続して検討する。

都心環状道路に囲まれたエリア内は、徒歩や自転車、低速のモビリティで回遊できる歩行者優先のエリアとする。

- 中心市街地範囲
- 歩行者回遊の目的地となるエリア
- 都心環状道路（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 道路整備が予定・想定されている路線（「もりおか交通戦略（第二期）」「盛岡市都市計画道路整備プログラム」）
- 将来的な道路整備が期待される路線（提案）
- 基幹公共交通（幹線系）（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 循環バス（でんでんむし）ルート
- 盛岡市サイクルルート
- 自転車回遊ルート（提案）
- 自転車通行空間整備が検討されている路線（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- 自転車通行空間整備を検討する路線（提案）
- 歩行者回遊に関する取組が行われている路線（現況）
- ボンネットバスの走行ルート（現況）
- 低速モビリティルート（提案）
- 北上川の舟運ルート（現況）
- 北上川の舟運ルート（提案）



モビリティハブの設置を検討する箇所（提案）

将来的な道路整備が予定される都市計画道路下ノ橋南大通線を自転車やモビリティのルートとして位置付け、大通りエリアと鉈屋町エリアの接続を強化する。

低速のモビリティにより、八幡町エリア、鉈屋町エリア、下ノ橋町・清水町エリア間の回遊性の向上を図る。



(3) エリアごとの将来ビジョン

各エリアの特徴・課題を踏まえ、既存の行政・民間による取組がさらに展開・連携したと想定した各エリアの少し先の未来を形にしたものです。各提案は、官民の活発な意見交換のためのたたき台となることを意図しています。

地図上に公共空間整備・民間の取組のアイデアを図示し、吹き出しには、こんな出来事が起こったらいいというシーンを掲載しています。

■駅前通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡の玄関口として、交通機能の再編を含めた駅前広場の再整備、駅前通りの（※）トランジットモール化、街区全体での盛岡駅と北上川の面的な接続強化などによる、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡のエントランスエリアの形成を目指します。

※トランジットモール：一般車の通行を規制し、公共交通のみを通行可能とすることで、公共交通の円滑な運行を支援する道路

①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の再整備に向けた

分析・協議（提案）

- 盛岡駅前周辺のバス・タクシー動線などの交通再編やバリアフリーの強化を含め、駅前通りと一体的で盛岡のエントランスエリアを形成する駅前広場の再整備に向け、交通分析や関係者協議を検討します。

②駅前通りのトランジットモール化に向けた分析・協議（提案）

- 官民連携による「駅前通り開運ホコテン」の社会実験の検証や、交通事業者との協議を通して、駅前通りのトランジットモール化による、盛岡の顔となる歩行者中心の街路空間の形成を目指します。

③駅前通り北側街区への路面店の誘導・街路空間利活用の推進（提案）

- 駅前通り北側街区への**店舗の出店誘導**や、細街路での沿道施設と一体となった**街路空間の利活用**などにより、駅前と北上川をつなぐ魅力的な界隈の形成を目指します。

④周辺エリアの団体が連携した盛岡の玄関口づくりの推進（提案）

- 盛岡駅（JR）、盛岡駅前商店街振興組合、木伏緑地P-PFI事業

者などの連携により、駅周辺全体の景観形成や公共空間の面的な利活用を検討します。

例）駅前周辺の街歩きマップの設置、イルミネーションやおもてなしさんさなど、イベントでのエリア間の連携

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ ここから盛岡の“ステキ”“良さ”に出会えるスタート地点！というワクワク感が生まれる所になってほしい。（◇）
- ✓ 「駅前通り開運ホコテン」をイベントで終わらせずウォーカブルなまちづくりの成功例にしてほしい。（◇）
- ✓ 盛岡駅前の駅前広場やバス・タクシーの乗り場を分けることは大いに賛同する。自家用車が駅前に入ってこないような工夫が必要。（○◇）
- ✓ 盛岡駅前・盛岡駅構内の案内を充実させてほしい。（○◇☆）
- ✓ 盛岡駅～駅前通り～北上川が歩行者空間としてつながり、盛岡の玄関口となるとよいと思う。（☆）

【参考事例】

歩車道一体の歩きやすい通り

道路の利活用



善光寺表参道（長野市）



新橋ガード下（港区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

③駅前通り北側街区への路面店の誘導・ 街路空間利活用の推進 (提案)

駅前通りの北側にも
お店が増えてきたね

駅前と協力して
景観形成を進めよう

④周辺エリアの団体が連携した 盛岡の玄関口づくりの推進 (提案)

駅前から北上川まで
歩いてみよう

駅前通りは
盛岡の魅力に出会える
スタート地点だよ

ホコテンの取組を展開
させてトランジット
モール化を進めよう

駅前広場と駅前通りが
つながった！

盛岡駅

バス・タクシー乗り場が
分かりやすくなったね

①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の 再整備に向けた分析・協議 (提案)

②駅前通りのトランジットモール化 に向けた分析・協議 (提案)

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

0 20 40 60 80 100m



■北上川エリアのまちづくり方針（案）

開運橋から岩手山への眺望や、右岸側にP-PFIで整備された木伏緑地、かわまちづくりで整備されたかわみななどの水辺空間を活かし、駅前周辺と大通方面をつなぐ拠点形成を目指します。

①民間開発に合わせた左岸側の水辺空間形成の検討（提案）

- 川沿いの民間開発と連携し、岩手山への眺望の確保やまちと川をつなぐ空間づくりを検討します。
- 川沿いの駐車場の集約によるオープンスペース整備の検討や、川沿いの街路空間の利活用なども合わせて検討し、魅力的な**水辺空間の形成**を目指します。

②水辺のモビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 右岸側に整備された木伏緑地をベースに、自転車や舟を含めたモビリティハブの設置を検討します。

例）木伏緑地の既存整備や緑陰を活かした、ベンチ設置、軽食等のスタンドの出店の促進などを行い、自転車や船の利用者が過ごしやすい拠点づくり（モビリティハブ）を目指します。

③北上川沿い（開運橋～旭橋）の街並み等の

ガイドラインの作成の検討（提案）

- 開運橋から北上川越しに岩手山を望む盛岡の代表的な景観を保全し、さらににぎわいのある水辺空間を形成していくために、景観計画を補完する建物高さ・形態・用途の規制・誘導等を定めた街並み等のガイドラインや地区計画の作成を検討します。

④北上川兩岸の一体的な活用の推進（提案）

- 既存の取組を活かして連携することで兩岸の一体的な景観形成やイベントの開催を推進します。

例）北上川兩岸へのカウンターテーブルや照明の統一した整備等によるまとまりのある景観形成。川を舞台に兩岸の建物や広場・道路を一体的に使ったイベントの検討など。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 川越しに岩手山が見える景観を守り続けたい。（◇）
- ✓ 北上川をもっと生活の景色として活かしていきたい。川の見えるお店が増えると良い。（◇）
- ✓ 川岸の空間活用はとても良いと思うが、暑さや虫、ゴミ、豪雨への対策も同時に考えてほしい。（◇）
- ✓ 駅前通りエリアと北上川エリアを利用者目線で一連のエリアとして回遊できるようにしていけると良いと考えている。（☆）
- ✓ 河川敷が通りやすくなり、岩手山を眺めて歩けると良い。（☆）

【参考事例】

水辺沿いの張り出しテラス

川沿いのオープンテラス



柏の葉アクアテラス（柏市）



天王洲アイル（品川区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

②水辺のモビリティハブの形成に向けた 分析・協議 (提案)

①民間開発に合わせた左岸側の水辺 空間形成の検討 (提案)

④北上川兩岸の一体的な活用の推進 (提案)

③北上川沿い (開運橋～旭橋) の街並み等の ガイドラインの作成の検討 (提案)



■材木町エリアのまちづくり方針（案）

既存の街路整備や光原社をはじめとする個性的な店舗、定期開催されるよ市などを活かし、周辺エリアとの接続を強化することで、まちなか観光や周遊の目的地となる個性的なエリア形成を目指します。

①材木町と周辺エリアとの接続の強化（提案）

- ・駅前周辺エリア、北上川方面との接続を強化するため、更新時期に合わせて、材木町のエントランスにあたる東側入口や旭橋周辺の道路（歩道）整備を検討します。
- ・ポケットパークや路地の整備検討を含めて、材木町を介して永祥院前の通りと北上川をつなぐ回遊動線の強化を検討します。
- ・材木町裏石組の遊歩道へ降りる階段の位置を分かりやすくすることを検討します。

例）材木町から建物内や路地を通して北上川や武田邸方面へ回遊できるようになります。ポケットパークは、材木町よ市や酒買地藏尊例大祭での屋台の出店スペースとして使えます。

- ・材木町舟渡しの取組を活かして、船着き場を整備し、鉦屋町等、市内他エリアへ舟運でつなげることを検討します。

例）鉦屋町などと連携して、お酒や民芸品等の共通テーマでエリア間を巡れるようにすると、舟運を利用した市内の回遊が活発になることが期待できます。

②材木町の魅力的な街並み形成の推進（提案）

- ・鉦屋町や紺屋町など、中心市街地エリア内で過去にまたは今後同じ課題を抱えると想定される他のエリアと情報交換ができる体制を検討します。

- ・「材木町よ市」時に活用できるファニチャー、サインの設置や建物外構のリノベーションをおこない、平日にも材木町を訪れた人がエリア内を回遊したくなる街並み形成を検討します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ にぎわいは大通りにまかせて材木町はゆったりできる落ちついた通りにしてもいい。（◇）
- ✓ 材木町のメインストリートと裏路地のお店との往来をする人たちのために、歩道の整備をしてもらえると良い。（◇）
- ✓ 材木町商店街の駐車場を広場に造りかえたら素敵なお場所になると思う。（◇）
- ✓ 昔からお客さんがどうすれば楽しんでくれるかを考えてきた。「材木町よ市」の維持も難しくなっているの、新たな取組を始めるなど打開策を考えていきたい。（☆）

【参考事例】

木材を活用したリノベーション

木材を活用したファニチャー



clealce（盛岡市）



IKEBUKURO LIVING LOOP（豊島区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

②材木町の魅力的な街並み形成の推進 (提案)

よ市で使えるファニチャーをつくってみよう

木材をつかったリノベーションで魅力的な街並みをつくろう

来てくれる人が歩いて楽しい道をつくろう！

振興組合の事務所がまち歩きの出点になったよ

材木町から鉾屋町まで船で行けるようになったよ

材木町裏石組のある水辺にアクセスしやすくなったね

いーはとーぶアベニューの裏の道も歩きやすくなったね

材木町の入口が分かりやすくなったね！

武田邸

HITONOKI

永祥院

光原社

①材木町と周辺エリアとの接続の強化 (提案)

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

0 20 40 60 80 100m



■開運橋エリアのまちづくり方針（案）

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ立地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的な拠点形成を目指します。

①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化

（提案）

- 盛岡停車場線へほこみち制度の適用や、社会実験の実施など、沿道店舗と一体の**街路空間の利活用**を検討します。
- 開運橋東交差点の橋詰広場の整備・活用など、エリアの拠点性を強化する顔づくりを検討します。

②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 建物やテナントの更新を通して魅力的な店舗が増えるよう、市と組合がまちづくり、商店街振興を共に考える**エリアマネジメント**体制づくりを検討します。
- 飲食・物販**店舗の出店誘導**を検討し、ファッションや音楽関係等個性的な店舗が集積するエリア形成を目指します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 古い雑居ビルに若い人が入りやすいお店がちょこちょこ入っている印象。適度に手入れして活用し続けられると良い。（◇）
- ✓ 開運橋を渡った先の五叉路の交差点をスクランブル化してほしい。（◇）
- ✓ 大通郵便局の隣にある外のベンチに座っている人をよく見かける。こういった空間がもっと増えたらいいと思う。（◇）

【参考事例】

交差点の広場整備



昭和通り・交差点四隅広場（大分市）

駐車場の利活用



下北線路街空き地（世田谷区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化 (提案)



■大通リエリアのまちづくり方針（案）

市内中心部の代表的な商業エリアとして、商店街の道路空間の再配分や歩車共存道路への改良、官民連携を見据えた交差点部の施設整備、周辺街区との連携強化、エリアマネジメント体制の充実等を検討し、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

①大通商店街の通りの再整備に向けた検討（提案）

- パーキングメーター廃止に伴う道路空間の再配分や、ストリートファニチャー、パークレットの設置を検討し、社会実験など実現へ向けた取組を推進します。
- 現在一方通行である大通りについて、**道路空間再配分**（歩車共存道路の改良）や時間帯通行規制などを検討し、大通りがより歩きやすい通りになることを目指します。

②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討（提案）

- 大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けて、拠点施設と一体となった広場整備や、多様なモビリティの乗り換え拠点となるモビリティハブの設置など、まちなか観光や周遊の新たな拠点形成に向けた検討を進めます。

③周辺街区との接続の強化による面的な回遊エリアの形成（提案）

- 大通商店街と南北の街区における、面的な**街路空間利活用**の促進を目指します。
- 建て替え・再開発時に、1階の建物内のにぎわいが見える建物形態の誘導を検討します。

④エリアマネジメント体制の構築と周辺エリアとの連携（提案）

- エリアの将来像の検討・共有や施設更新・テナント調整などを進める**エリアマネジメント**体制の構築を検討します。
- 周辺エリアと連携したイベント開催や公共空間活用の取組の拡大を目指します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ “飲み屋街”のイメージが強いが、家族で出かけられる明るいイメージの歩いて楽しむ通りへ変わってほしい。（◇）
- ✓ 古い物件も含めてどこも賃料が高いため、まちなかの物件に価格の柔軟性がほしい。（◇）
- ✓ 盛岡くらいの街では商店街の全国チェーン化を避けるのが難しいが、頑張っている地元のお店を市民が応援しましょう！（◇）
- ✓ イメージが変わってきているが、まちなかに人が集まる場所があるということには価値があると考えている。（☆）

【参考事例】

街路沿いの植栽・滞留空間



とり町ストリートガーデン（福山市）

街路沿いの植栽・滞留空間



銀座ソニーパーク（中央区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討 (提案)

③周辺街区との接続の強化による面的な回遊エリアの形成 (提案)



■菜園通りエリアのまちづくり方針（案）

ホテルや商業施設が立地し、道路空間再配分による歩行者・自転車空間の充実が検討されている菜園通りにて、街路空間利活用の推進やエリアマネジメントに向けた体制づくりを検討し、駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

①菜園通りの道路空間の再配分による歩行者・自転車空間の充実（提案）

- 都心環状道路の整備及び菜園通りの**道路空間再配分**により、広幅員の歩道や自転車通行帯の整備を検討します。
- 整備検討に当たっては、信号柱や標識等の道路付属物のデザイン等を調整します。

②沿道施設と一体の街路空間利活用の推進（提案）

- 菜園通りでは沿道施設と一体の**街路空間利活用**を検討します。
 - ホテルや商業施設の新設・改修時に通りと一体のオープンスペースの設置誘導を検討します。
 - 商業施設周辺へのモビリティポートの整備を検討し、モビリティハブの形成を目指します。
- 例) 沿道施設のオープンスペースでのマルシェやチャレンジショップの開催
- 例) 歩道上にテイクアウト用のカウンターや簡易の自転車駐輪ラックの設置

③エリアマネジメントに向けた体制づくりの検討（提案）

- 沿道施設、テナント等の入れ替えやリニューアル時のまちづくりの観点からみた検討や、道路空間再配分等の公共事業の検討

時の、協議主体となる**エリアマネジメント**体制づくりを推進します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 川徳前のスクランブル交差点あたりの都会的な雰囲気が素敵だと思う。(◇)
- ✓ 川徳前の交差点は、盛岡に住みはじめて「都会のキラキラ感」を強く感じた場所で、今でも変わりません。(◇)
- ✓ カワトクより開運橋側の建物に空き物件が増えてきている印象を受ける。(◇)
- ✓ 「菜園」という名前の由来や、まちづくりの歴史、青果市場が在った場所として「マーケットストリート」としてのまちの再構築をしてはどうか。(◇)
- ✓ 菜園通りの歩道を歩きやすくしたい。(☆)

【参考事例】

商業施設のオープンスペース

道路から見える1階部分



モコブラ（盛岡市）



SyuRo（台東区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

歩道が広がって
歩きやすいね

自転車への乗り換えが
しやすくなったね

モコプラ

商業施設の前の屋台で
買ったお酒で飲み歩き！

MOSS

ホテルのオープン
スペースも
使いこなそう！

②沿道施設と一体の街路空間利用 の推進 (提案)

歩道や駐車場の
利活用を進めよう

①菜園通りの道路空間の再配分による 歩行者・自転車空間の充実 (提案)

カワトク前の交差点では
印象的な風景をつくろう！

カワトク

菜園通りの歴史から
まちづくりを考えよう

カワトク
キューブⅡ

③エリアマネジメントに向けた 体制づくりの検討 (提案)

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

0 20 40 60 80 100m



■映画館通りエリアのまちづくり方針（案）

大通り、菜園通り、中央通りを南北につなぐ、盛岡の市民文化の歴史を伝える映画館通りを中心に、映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

①映画館通りの再整備に向けた検討（提案）

- 映画館通りの歩車共存道路の改良や**道路空間の再配分**、それに向けた社会実験などの実施を通して、歩行者中心の街路空間形成を目指します。
 - 既存のファニチャーを活かして、ファニチャーの改修整備やパークレットの整備を検討します。
- 例）映画館通りの特徴や歴史にあった個性あるファニチャーの検討を行います。

②エリアマネジメントによる

市民文化を活かしたまちづくりの推進（提案）

- 事務局機能を同じくする、盛岡大通商店街協同組合との連携、まちづくりに向けた協議の推進と**エリアマネジメント**体制づくりを図ります。
 - 映画に関わるコンテンツの支援を行い、映画によるまちづくりを推進することを目指します。
- 例）映像作家による映画制作の支援や発表の場づくり、学生・子ども向けの映画ワークショップの開催、もりおか映画祭の開催等により、市民が映画に親しむ機会を増やすことができます。
- 映画館と周辺店舗の利用が相乗効果を生む仕組みづくりを検討します。

例）映画館と飲食店のセット券や映画のテーマに沿ったイベントの開催等。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 「映画館」と「本屋」が地方都市のまちなかにあることは貴重。落ち着いたイメージのエリアになれば良いと思う。（◇）
- ✓ 映画館通りを中心として、大通りをシネマ&ブックストリートとしてブランディングしていけると良い。（◇）
- ✓ 盛岡の景観に街路樹は重要である。街路樹が撤去された植樹ますの取り扱いを含め維持管理を考慮した植栽計画としてほしい。（○◇）
- ✓ 施設自体の集客力だけでなく、映画や本という文化を大切にするというメッセージがまちなかに人を滞留させると思う。（☆）

【参考事例】

個性的なファニチャーの設置



元町ショッピングストリート（横浜市）

映画によるまちづくりの推進



飲食・映画鑑賞セット券（盛岡市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①映画館通りの再整備に向けた検討 (提案)

歩きやすく
個性的な通りにしよう

映画館通りらしい
ファニチャーを
置いてみよう!

街路樹の維持管理を
考えよう

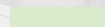
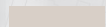
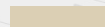
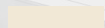
映画祭の日は、
まち全体が
映画館になるよ!

盛岡の市民文化を発信する
取り組みを進めよう!

まちなかの映画館や
本屋さんを
大事にしたいね

創作活動を支援する
場をつくらう!

②エリアマネジメントによる 市民文化を活かしたまちづくりの推進 (提案)

- | | |
|--|--|
|  建物 (提案) |  商業施設・店舗 (既存) |
|  緑地 (提案) |  公共施設 (既存) |
|  街路・広場整備 (提案) |  文化施設 (既存) |
|  街路・広場活用 (提案) | |

盛岡
ルミエール

カワトク

カワトク
キューブⅡ

0 20 40 60 80 100m



■内丸・中央通りエリアのまちづくり方針（案）

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入、歩行者中心の街路空間形成、沿道施設と一体の街路空間利活用、中央通りの中津川との接続の検討を通して、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討（提案）

- 官公庁エリアの再編と足並みを揃え、中央通りの**道路空間再配分**の検討を通じた、歩行者中心の街路空間の形成を目指します。
- 合わせて、LRT・BRT等の幹線系公共交通の導入の可能性についても協議を進めます。
- 市役所が移設された場合、跡地に中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- 公共施設や事務所ビルの改修時に、中央通り沿いのオープンスペースの再整備や緑化を検討します。

②街路空間利活用＋モビリティハブの整備に向けた検討（提案）

- 中央通りでは、沿道施設と一体の**街路空間の利活用**を推進します。
- 幹線系公共交通の停車帯と駐輪場や滞留スペースが一体となったモビリティハブの整備を検討します。

③亀ヶ池・鶴ヶ池の水辺空間再整備に向けた検討（提案）

- 亀ヶ池・鶴ヶ池の水質浄化の取組を活かして、亀ヶ池・鶴ヶ池と内丸緑地が一体となったオープンスペースの整備を検討します。

例) 亀ヶ池・鶴ヶ池の周辺で歴史を活かした水辺空間を整備し、コンテナショップやキッチンカーの出店を促進することで、内丸エリアで働く人々が休憩やランチをする場所になることが期待できます。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 岩手県公会堂が今も活用されていてとても良い。池周辺の空の広さはこれからも守られてほしい。 (◇)
- ✓ 内丸緑地など、緑がしっかり残っていて、大通りから離れて静かな雰囲気になるのが良い。 (◇)
- ✓ 鶴ヶ池・亀ヶ池を綺麗にしてほしい。 (◇)
- ✓ 石割桜から中津川まで、グリーンベルトにして市民・観光客が集えるようになってほしい。 (◇)
- ✓ 公共施設の1階部分に民間の商業施設を入れて、一般の方も回遊できるようにする。

【参考事例】

街路の利活用



日本大通り（横浜市）

公共空間の利活用



横浜美術館（横浜市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討 (提案)

日影門緑地

北日本銀行本店

公共交通が
便利になったね

岩手銀行本店

大通りから中津川までを
緑でいっぱいにしよう

自転車で走ると
気持ちいい道だね！

盛岡地方
検察庁

内丸緑地と池が
一体のオープン
スペースができたよ

岩手県警察本部

盛岡合同庁舎

岩手県議会
議員会館

岩手県産業会館

岩手医科大学

公共施設の1階にも
お店が増えて
入りやすくなったね！

岩手県議会
議事堂

北ホテル

歴史ある公会堂の建物を
活用していこう

岩手県庁

ららいわて

岩手県公会堂

岩手県盛岡地区
合同庁舎

中央通りと中津川が
つながった！

③亀ヶ池・鶴ヶ池の水辺空間再整備 に向けた検討 (提案)

内丸緑地

亀ヶ池

櫻山横丁

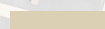
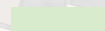
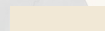
内丸緑地

鶴ヶ池

亀ヶ池、鶴ヶ池を
綺麗にしよう

盛岡市役所

岩手日報社本社

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

20 40 60 80 100m



■ 櫻山・大手先通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への入り口であった大手先通り、櫻山神社と櫻山界限、亀が池、鶴が池など、風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、本町通り、紺屋町などの各方面へと回避性をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

① 大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 大手先通りについて、盛岡城との関係を活かし、**道路空間再配分**及び無電柱化などによる歩行者中心の街路空間の形成を検討します。
- 大手先通りや櫻山横丁では、既存の街路空間利活用の取組の拡大を検討し、沿道施設や店舗と一体の**街路空間の利活用**を検討します。

② 緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）

- 緑の広場を、中津川や道路に開いた広場に改修することを検討し、まちと中津川とのつながりを強化することを目指します。

③ 歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）

- 上の橋や掘割の跡等、エリア内に点在する歴史資源を活かした整備を検討し、内丸エリアや本町通り方面への回遊性の向上を目指します。
- 例）歴史資源に気づくように旧奥州道中や上の橋、掘割跡にサインを整備するなど。

④ 歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

- 街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、官民が連携して歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- 櫻山界限の飲食店街の防災面の課題解決と風情あるまちなみの保全について議論を進めます。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 櫻山地区は火災がおきたときの延焼が不安だが、このままの古い雰囲気を残してほしい。（◇）
- ✓ 盛岡城跡公園はイベントで盛り上がるだけの場でなく、日常的に人が集うしかなければと思う。（◇）
- ✓ 緑の広場は小さい子どもを遊ばせるのにちょうどよい。（◇）
- ✓ 昭和30年代の風景がそのまま残っていることは、まちの財産だと思う。できる限り維持していきたい。（☆）

【参考事例】

歩車道一体の街路整備

店先のベンチ・テーブル



神門通り（出雲市）



Light up cofee（世田谷区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

④歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

①大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）

②緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）

③歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）



■本町・寺町エリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、歴史的な建築物の活用と歩行者中心の街路空間形成を進め、大手先通りから寺町への回遊性をつなげる歴史を活かしたエリアの形成を目指します。

①本町通りと寺町へのアクセス強化の検討（提案）

- 本町通りと寺町を自転車や徒歩で移動できるルートの整備を検討します。

例）寺社を活用したコンテンツの創出やまちなかの宿泊施設・レストラン等、エリア全体で目的地となる機能を増やすことにより、歩行者回遊を創出することを目指します。

②リノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- 点在する歴史的な建造物の保全やリノベーション・活用のための体制、仕組みを検討します。

例）歴史的な建造物をリノベーションしたゲストハウスや飲食店の整備

③本町通り・寺町の街並み等の景観ガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備、サイン設置時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討し、歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- ガイドラインの検討に当たっては、大手先通りと連携し、盛岡城の正面の通りとして統一感のある街並みの形成を目指します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 中心部にも近く静かで落ち着いていて住むには理想的なエリアだと思う。（◇）
- ✓ 本町通りは、交通量が多い一方歩道がない場所があり、危ないイメージがある。昔の街並みと可能な限り共存しながら、歩きやすい道路に変わっていった良いと考える。（◇）
- ✓ 店舗が空いているところが多いので、住民のニーズに合ったお店があるとよいと思う。（◇）
- ✓ 銀杏の木や上の橋、中津川の河原がずっと残ってほしい。（◇）
- ✓ 本町通りの周辺では、高齢者や車いすに乗る方、ベビーカーを押す方が歩きやすいような歩行空間の確保が一番の課題だと考えている。（☆）

【参考事例】

地区全体のライトアップ



たけた竹灯籠 竹楽（竹田市）

建物のリノベーション



FUKADASO CAFE（江東区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

②リノベーションを推進する体制・ 仕組みの検討（提案）

神社への近道だよ

下小路中学校

大泉寺

JOIS本町店

日常的に利用できる
お店が増えたね！

歴史のある建物を
受け継いでいきたいね

平野正太郎商店

安心して歩ける
道づくりを進めよう

橋本屋

大手先通りと連携して
街並み形成を進めていこう

中津川沿いに
出てみよう！

③本町通り・寺町の街並み等の景観 ガイドラインの作成の検討（提案）

①本町通りと寺町へのアクセス強化 の検討（提案）

自転車の回遊ルート
をつくろう

境内を通り抜けて
お寺を回ってみよう！

専立寺

證明寺

本誓寺

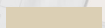
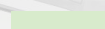
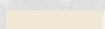
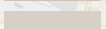
歴史のある寺院群は
地域の資源だね

三ツ石神社

東願寺

本町通りから寺町まで
アクセスしやすくなったよ

大泉寺

 建物（提案）	 街路・広場整備（提案）	 商業施設・店舗（既存）	 文化施設（既存）
 緑地（提案）	 街路・広場活用（提案）	 公共施設（既存）	

0 20 40 60 80 100m



■中津川エリアのまちづくり方針（案）

盛岡の地域資源である中津川を活かしたまちづくりに向け、川沿いに連続したオープンスペースの整備や、民間の水辺利活用の促進を通して、水辺景観の保全と、川とまちが一体となり四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的な親水エリアの形成を目指します。

①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出（提案）

- 市役所が移設された際には、中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- エリア内の駐車場機能の再配置などの協議を通して、中津川に面した公共空間を創出し、水辺を楽しむ川沿いのオープンスペースの整備と**水辺空間の利活用**促進を検討します。

例) いわぎりリース駐車場敷地（なかのはし1-1ひろば）に常設の広場を整備すると、川沿いを楽しむ拠点になるとともに、放課後の小学生の遊び場や肴町商店街のイベントスペースとしての活用ができます。

②オープンスペースをつなぐ中津川沿いの遊歩道の検討（提案）

- 中津川沿いのオープンスペースをつなぎ、回遊性を高めるため、中津川沿い遊歩道の再整備などの**水辺空間の形成**を検討し、合わせて歴史・自然資源や河川敷に降りる階段の位置を紹介するサインの設置等を提案します。

③中津川沿い(上の橋～毘沙門橋)の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に参照される、景観計画を

補完する街並みの景観保全の内容や、その活用を記した**街並み等のガイドライン**や**地区計画**の作成を、官民の協働で検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ まちなかに水遊びできる川があるのは素晴らしい！変に手を入れないでほしいと思う。（◇）
- ✓ 緑やせせらぎを楽しめる心豊かになる場所。盛岡らしさを感じられる大好きなエリア。（◇）
- ✓ 中津川沿いのオープンカフェなど気持ちよく過ごせる場所が増えるとよい。（◇）
- ✓ 中津川の眺めを楽しめるスポットを増やしてほしい。（◇）

【参考事例】

川沿いの親水空間



川沿いのオープンテラス



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出 (提案)

中央通りと中津川が
つながった！

水辺で気持ちよく
過ごせる場所が増えたね

盛岡市役所

テレビ岩手本社

水辺に降りる階段の位置が
分かりやすくなったよ

もりおか
歴史文化館

川沿いの遊歩道が
歩きやすくなったね

盛岡城跡公園
芝生広場

②オープンスペースをつなぐ中津川 沿いの遊歩道の検討 (提案)

与の字橋
与の字橋灯りの広場

石積み護岸も大事な
地域の資源だね

ござ丸

盛岡勤労福祉会館

子どもが自由に遊べる
水辺を大切にしよう

釜定

喫茶ふかくさ

紅茶の店しゅん

盛岡信用金庫

岩手銀行赤レンガ館

東家

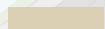
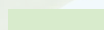
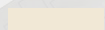
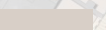
中津川の風景を
ずっと守っていこう

おでつて

なかのはし
1-1ひろば

③中津川沿い(上の橋～毘沙門橋)の街並み等の ガイドラインの作成の検討 (提案)

盛岡
バスセンター

	建物 (提案)		街路・広場整備 (提案)		商業施設・店舗 (既存)		文化施設 (既存)
	緑地 (提案)		街路・広場活用 (提案)		公共施設 (既存)		

0 20 40 60 80 100m



■紺屋町・葺手町エリアのまちづくり方針（案）

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性的なエリア形成を目指します。

①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に街並みの景観保全や活用を記した**街並み等のガイドライン**や**地区計画**の作成を検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

②紺屋町の歩車共存道路整備と街路空間利活用の検討（提案）

- 紺屋町の歩車共存道路への転換に向けた社会実験などを通して、交通分析や活用可能性を検討し、歩車共存道路の整備による、車両速度を抑制した歩きやすい街路形成を目指します。
 - 葺手町こみちの取組を展開し、紺屋町・葺手町における沿道施設と一体の**街路空間利活用**の面的な展開を検討します。
 - 紺屋町番屋周辺にポケットパークやモビリティポートを整備し、回遊拠点の形成を検討します。
 - 旧井弥商店周辺の再整備や民間開発と合わせて、紺屋町のエントランスの形成を検討します。
- 例）欧州アンチック市や工芸品や雑貨のポップアップショップとしてオープンスペースを活用

③中津川との接続強化と歴史資源の活用の検討（提案）

- 敷地内を通り抜けて紺屋町と中津川を行き来できる建物形態の誘導を検討します。

- 紺屋町と葺手町をつなぐ路地の整備を検討し、歩行者の回遊促進を目指します。
 - 歴史的建造物・レトロな建物を活かし歴史のある建造物の活用・周知を推進することを検討します。
- 例）歴史的建造物の公開・周知イベントの開催により、市内外にまちづくりを発信することができます。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 歩道がない分、無電柱化によってより歩きやすくなると思う。（◇）
- ✓ ござ九さんのように、川側の景色が絵になるような、川沿いの景観が増えるといい。（◇）
- ✓ 地元と新しく盛岡に来た人々の対話の場が必要だと思う。（◇）

【参考事例】

歩車道一体の街路整備



本町通り（竹原市）

川に向けたテラス



minä perhonen koota joki（盛岡市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

③中津川との接続強化と歴史資源の活用 の検討 (提案)

トーサイ
クラシックホール岩手

対岸からの眺めも
大切にしたいね

ひめくり
深沢紅子
野の花美術館
ミナペルホネン
森八商店
紺屋町番屋

新築するときには
歴史のある建物を引
き立てよう

盛岡市役所

道路が整備されて
歩きやすくなったね

ござ丸
盛岡勤労福祉会館
釜定

中津川までつながら
道を整備しよう

紅茶の店しゅん

岩手銀行赤レンガ館

東家

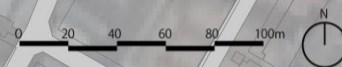
通りの入口に
広場を整備しよう

街並みについて議論する場を
持ち続けたいね

①紺屋町の街並み等のガイドライン 作成の検討 (提案)

②紺屋町の歩車共存道路整備と街路 空間利活用の検討 (提案)

- | | | | |
|--|--------------|--|--------------|
| | 建物 (提案) | | 商業施設・店舗 (既存) |
| | 緑地 (提案) | | 公共施設 (既存) |
| | 街路・広場整備 (提案) | | 文化施設 (既存) |
| | 街路・広場活用 (提案) | | |



■肴町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）

- 肴町商店街アーケード内で、滞留スペースの設置による住民や観光客の居場所づくりを目指します。
例）既存のベンチプロジェクト等の取組を活かして、KITENEのDIYスペースを活用したファニチャーを増やしていくことで、子育て世代や高齢者の日常的な居場所となることが期待できます。

②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）

- 商店街アーケード内の歩道や空き店舗を活用したチャレンジショップなどの取組の可能性を検討し、新規店舗の出店誘導を目指します。
例）アーケード南側でチャレンジングな店舗の入居を促進することで、アーケード北側との差別化が図れます。

③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

- 商店街アーケード周辺の建物・オープンスペースのリノベーション・活用の誘導との連携を検討し、周辺エリアとの接続の強化を目指します。
例）アーケード南側の建物のリノベーションにより、鉾屋町ま

での歩いて楽しい回遊ルートの形成が図れます。また、賜松園緑地の一般開放や御幸小路等の路地の高質化により、八幡町エリアとの面的な回遊を生むことが期待できます。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 日常使いの商店街という印象。ハレではなくケの街。良いものを扱っているお店が多いが、手に取りやすい価格帯の品を扱う店や、若い人がふらっと入れる店も増えたらいいと思う。（◇）
- ✓ 若者、子ども、大人、高齢者など幅広い年代の人が多く訪れるイメージ。家族連れ向けの居場所、夕方以降の居場所が充実すると良い。（◇）
- ✓ アーケードの修繕費等に補助金を活用して、家賃を下げて、もっと若い、新規事業者が参入できるようにしては。（◇）
- ✓ アーケード南側の空き店舗増加はマイナスではあるが、新しいプレイヤーに参入してもらうチャンスとしても捉えたい。（☆）

【参考事例】

小商いの出店誘導



ロック&パッチ（横浜市）

アーケードと広場の改修



大街道商店街（松山市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①日常利用を促進する商店街アーケード 内の居場所づくりの検討（提案）

②チャレンジショップなど出店機会 の多様化の検討（提案）

③リノベーションの促進による 周辺エリアとの連携強化（提案）



■八幡通りエリアのまちづくり方針（案）

八幡通りは、町家が並ぶ盛岡八幡宮の参道であり、既存の街路整備やまちづくり団体の取組がみられます。町家リノベーションの展開や街並み等のガイドラインの作成による街並み景観や夜間景観の創出、周辺エリアとの回遊性を生むモビリティの強化など、歴史性を活かしたエリアの形成を目指します。

①町家を活かしたリノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- ・まちづくり団体による町家を活かしたリノベーションの取組を面的に拡大するため、歴史的建造物や町家の保存活用のための体制、仕組みを検討します。

②周辺エリアと回遊性を生むモビリティの検討（提案）

- ・中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮・鉤屋町・清水町へのアクセス強化を検討します。

③八幡通りの街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- ・建て替えや再開発・駐車場整備時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 日中に参拝する来街者がひと休みしたり、ちょこっと盛岡らしい、八幡らしいお買物したりできる場所があると良い。（◇）
- ✓ 電線地中化により景観が美しくなって良い。（◇）
- ✓ 盛岡駅からの交通手段がバスセンター以外があまりなく、遠く感じるので近くで降りられる駅⇔バス停ルートがほしい。（◇）
- ✓ 八幡町はのみ屋さんが多いので日中たち寄れるカフェとかお菓子やさんとか、雑貨やさんがふえたらいいな〜って思っています。買物動線がもっと便利だと嬉しい。（◇）
- ✓ 大通り・中央通りなどとはちがう、アットホームでディープな感じのお店が多くて気に入っている。（◇）
- ✓ 観光客は盛岡八幡宮まで歩く人が多い。統一的な景観づくりが長期的な目標だと考えている。（☆）

【参考事例】

神社参道の景観形成



神門通り（出雲市）

通りを生かした祭り



おわら風の盆（富山市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

まちの歴史を感じられる建物を残していきたいね

歴史ある建物の活用を進めよう

②周辺エリアと回遊性を生む
モビリティの検討 (提案)

景色を楽しめる
モビリティがあると
八幡宮まで近く感じるね

①町家を活かしたリノベーションを推進
する体制・仕組みの検討 (提案)

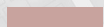
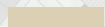
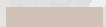
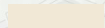
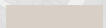
盛岡八幡宮で結婚式がある日は
八幡通りにも人力車が走るよ

八幡通りの夜の景観を
演出しよう

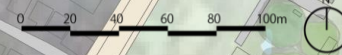
八幡通りから一本入った
エリアの魅力を発信しよう

一休みできる
場所が増えて
歩きやすくなったね

③八幡通りの街並み等のガイドライン
の作成の検討 (提案)

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

盛岡八幡宮



■下ノ橋町・清水町エリアのまちづくり方針（案）

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源が点在しているほか、今後、病院の建て替え・跡地活用等の民間施設の新設・更新が見込まれるエリアです。民間施設と連携して、住民が日常的に気軽に訪れ、観光の中継地点となる小さな目的地を増やすことにより、大通商店街方面と鉾屋町方面への回遊をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

①民間施設の一部を活用した拠点づくりの検討（提案）

- 既存の病院の建て替えと連携して、病院機能の一部を有する地域に開いた施設を整備することにより、地域住民や観光客が気軽に立ち寄れる拠点を設けることを検討します。
- 既存の病院の建て替え時に、駐車場の一部にもパブリックスペースを設け、南昌荘や旧石井県令邸へ 抜ける動線を確保することで、アクセスを強化することを検討します。
- 敷地の一部へのパブリックスペースの設置など、良好な開発を誘導することを検討します。

例）病院の建て替え時に、病院の食堂や更衣室と地域に開いたカフェを併設することで、地域住民や観光客の回遊の拠点となり、大通り・菜園方面と鉾屋町間の回遊が活発になることが期待できます。

②エリア内外と連携した地域資源のPRの検討（提案）

- 下ノ橋エリアの点在する地域資源を中心市街地の回遊ルートの拠点に位置付けるため、エリア内外の地域資源と連携してPRすることを検討します。

例）市内の庭園（武田邸、賜松園緑地、南昌荘）めぐり、展覧

会めぐり等をセットでPRすることで、下ノ橋エリアの地域資源を中心市街地エリアの回遊に位置付けることができます。

③周辺エリアと回遊性を生むモビリティの検討（提案）

- 中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮や鉾屋町とのアクセスの強化を検討します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 歴史的な建物が残っていたり、実際に行くと思えば素敵だと思える所。しかし、盛岡に住んでいてもアクセスが悪く行ったことない人が多い印象。（◇）
- ✓ 特徴ある建物が残っているが、点在していることと日常訪れる機会が少ない。街並みとしての雰囲気作り・ルートがほしい。（◇）

【参考事例】

事務所・飲食店の複合施設



ヒグマドーナツ（港区）

集合住宅敷地内の
パブリックスペース



ののあおやま（港区）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

市民も観光客も立ち
寄りやすい場所を
増やしていこう

遠山病院

新渡戸緑地

駐車場を整備するときも
緑を増やしていきたいね

開発をするときには
オープンスペースを
設けるといいね

杜陵小学校

①民間施設の一部を活用した
拠点づくりの検討 (提案)

②エリア内外と連携した地域資源の
PRの検討 (提案)

旧石井県令邸と
南昌荘をめぐる
回遊ルートをつくろう

南昌荘

市内の歴史的建物と
連携して
魅力を発信しよう

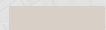
旧石井県令邸

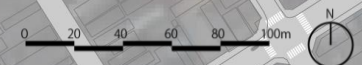
大通りから鉾屋町まで
近くなったね

③周辺エリアと回遊性を生む
モビリティの検討 (提案)

自転車で走りやすく
なったね！

金刀比羅神社

- | | |
|--|--|
|  建物 (提案) |  商業施設・店舗 (既存) |
|  緑地 (提案) |  公共施設 (既存) |
|  街路・広場整備 (提案) |  文化施設 (既存) |
|  街路・広場活用 (提案) | |



■鉈屋町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な街並みの形成・保全・活用に関する既存の取組が進められており、部分的な不動産の流動化も進んでいるエリアです。今後はこれらの街並み景観を活用した観光拠点の形成を進めるとともに、周辺エリアとの接続を強化し、中心市街地の回遊ルートに位置付けることを目指します。

①既存建物を活用した観光拠点の形成の検討（提案）

- 既存の取組を活かして歴史的建造物（徳清倉庫等）や庭園を活用し、観光の拠点づくりを目指します。

②広域の回遊ルート形成に向けた検討（提案）

- 建物の保全や改修・活用を推進し、肴町方面との回遊性を高めるとともに、歩行者と共存する個性的な低速モビリティの運行による周辺エリアへとの接続の強化を検討します。
- 盛岡を代表する個性的なエリアである材木町と鉈屋町を結ぶ、舟によるモビリティを検討します。

計画策定にあたり市民の皆様からいただいた意見

○パブリックコメント ◇MORIOKA AGORA ☆ヒアリング・共有会

- ✓ 駅→鉈屋町への舟便をもっとアピールして気軽に乗ってもらえると良いと思う。（◇）
- ✓ 昔の面影が残っていて道路を無理矢理拡幅しなくてよかったと思う。（◇）
- ✓ 古い建物をどう生かしていくか、なしくずしになっていく状況をどうするのかという、歴史に対する使命感を持っている。（☆）
- ✓ 鉈屋町では、老朽化した町家の所有者が高齢化して後継者もいないため、維持できず解体してしまうケースが増えていることが課題である。（☆）

【参考事例】

酒蔵を活用した飲食店



上野桜木あたり（台東区）

文化財を利用したミュージアム



武相荘（町田市）

まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

①既存建物を活用した観光拠点の 形成の検討 (提案)

材木町まで
舟で行ける
ようになったよ！

新山河岸

ボンネットバスに
乗ると
移動も楽になるね

昔の船着き場跡を生かした
レストランができたよ

肴町商店街からの道に
お店が増えたね

大事にされてきた
共同井戸を受け継いで
いきたいね

町家を活用した
カフェやバーが
素敵だね！

盛岡城下町の風情ある
まちなみを受け継いで
いきたいね

街並み保全の先駆けとなった
鉤屋町のまちづくりを学ぼう！

酒蔵の入り口が
分かりやすくな
ったね！

②広域の回遊ルート形成に 向けた検討 (提案)

明治橋や徳清倉庫も
一緒にまちあるき
できるといいね

明治橋際の御蔵
(下町資料館)

円光寺

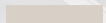
大慈清水

大慈寺小学校

あさ開

もりおか町家物語館

徳清倉庫

 建物 (提案)	 街路・広場整備 (提案)	 商業施設・店舗 (既存)	 文化施設 (既存)
 緑地 (提案)	 街路・広場活用 (提案)	 公共施設 (既存)	

0 20 40 60 80 100m



4.今後に向けて

(1)エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、
当面の対応（案）

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）

106

方針と地域側の状況

当面の対応（案）

駅前通りエリア

#公共施設の再編
#交通機能の再編

将来的には交通機能の再編により、利用者にとって使いやすいターミナル駅としていくことが望ましいが、前段には現状分析と丁寧な需要把握、多様な関係者等による協議が必要な状況にある。

歩行者天国やLRTフォーラムなど、官民が一体となった社会実験や意見交換等を継続しつつ、交通事業者等との協議の場を設け、交通機能の再編も含めたエリアの方向性について検討する。

経過を注視しながら官民での検討を継続

北上川エリア

#民間開発との連携
#水辺空間
#開発のルール

P-PFIや舟運などの右岸側での利活用に対し、左岸側も民間主体による再開発の動きがある。眺望や立地を活かした空間と機能の魅力向上を図れる余地性があるとともに、盛岡駅と大通方面の結節点の役割が期待されるが、現状そうっていない。

民間による再開発事業に行政側も併走し、北上川両岸での連携、眺望の維持など景観への配慮、公共空間との接続に考慮した屋外空間の配置や設えの検討など、具体的なプラン醸成を進める。

民間事業との連携による高質化の推進

材木町エリア

#商店街の維持と更新
#開発のルール

シケインのあるコミュニティ道路、こだわりのあった専門店、定期開催されるよ市など、ハード・ソフトともにポテンシャルを有するエリアであるが、今後はエリアの入口に立地する駐車場など、商店街振興を目的として取り組んできた施策が時代の要請と合わなくなってくる可能性があるため、その更新が求められる。

喫緊の課題ではないが、更新時期を見逃さないように注視することが重要である。組合と市が、商店街振興以外の視点も持ち、意見交換を継続する。また、こだわりのある事業者が出店を希望するエリアでもあるため、不動産の需要と供給のミスマッチが生じないよう、民間側で然るべき仲介機能を持つことが望ましい。

空地化など土地利用の状況を把握しながら更新時期を検討

開運橋エリア

#公共空間の社会実験
#機能の誘導

クロスタス盛岡の結節点機能と、大通～盛岡駅の主要歩行動線上にあり、需要に付合した店舗だけでなく、周囲にも好影響を及ぼす集客力のある商業機能の集積と事業性を高める公共空間を整備することで相乗効果が期待される。

現状でも左記の機能がある程度充足されていること、店子の入れ替わりが早く、むしろ現状を好立地と考えて出店する店舗が多いことから、事業化の優先度は高くない。現状の歩道幅員を活かし、各店舗の屋外利用などを実験的に仕掛けることから始める。

経過を注視しながら官民での検討を継続

大通りエリア

#商店街の維持と更新
#商店街のルール
#エリアマネジメント

歩車混在から歩車共存への改良を図るとともに、更新時期を迎えつつあるアーケードその他設備の改良、テナント出店の誘導ルールなど、多岐にわたる課題対応が求められており、商店街組織以外の運営組織を望む声が出ている状況にある。

課題の緊急性は低いですが、盛岡市内で最も規模の大きい商店街であるため、ケーススタディとして、エリアとして目指す姿やそれに伴う施設の更新や出店調整などの取組を担う主体づくりを目的として、組織形態や事業内容の精査などを実施する。

エリアマネジメントの導入に関する官民での検討

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）

107

	方針と地域側の状況	当面の対応（案）	
菜園通りエリア #機能の誘導 #公共空間の充実	百貨店やホテルなどへの歩行によるアクセスが多いことや、アパレルなどの買い回り品を扱う店舗が多いため、更新ルールを作り、エリア全体で沿道機能を充実することが望ましいが民間に確たる協議対象がない。	喫緊の課題とはいえないが、沿道店舗の入れ替えやリニューアルの際に、必要機能を見定めることや公共側も道路空間の再配分を検討・協議する対象として、民間側の協議対象を明らかにすることから始める。	民間側の協議対象者の把握
映画館通りエリア #商店街の維持と更新 #商店街のルール #エリアマネジメント	映画館が集積したエリアの形成過程を踏襲し、テーマ型のまちづくりを推進するべく、必要なハード・ソフトコンテンツの充実を図り、歩いて楽しめる街路形成を目指す。現状は商店のほか、企業や金融機関などの業務系も混在している。	商店街組織の事務局機能は盛岡大通商店街協同組合と兼任であり、民間側は大通と連動した動きとなると考えられる。現状、建物用途を規制的に誘導することはできないため、テーマ型まちづくり提案に対する民間側の意向確認と方針策定から始める。	民間の意向確認とまちづくり方針に関する協議
内丸・中央通りエリア #公共施設の再編 #道路空間の再配分 #エリアマネジメント	市を中心として、ステークホルダーと共に検討が進められている官公庁エリアの再編に併せ、広幅員の中央通りの道路空間再配分を行い、人中心の街路空間形成することが望ましい。	既に進められているエリア再編の検討と並走し、事業開始後のタイムラグを生じないように、より良い空間形成のための方針についても検討を進めていくことが望ましいと考えられる。	エリアの再編と並行した検討
櫻山・大手先通りエリア #歴史的な街並みの保全 #防火・防災 #エリアリノベーション	櫻山神社と櫻山界限を中心に、盛岡の歴史を今に残すエリアであり、それら資源を活用した回遊性の創出を目指すことが望ましいが、櫻山界限の飲食店街は史跡内であり、今後の在り方については、地元住民と合意形成を図りながら検討する必要があるが、防災面では延焼の危険性が高いなど喫緊の課題がある。	櫻山界限の機能と景観の維持については長年、取り沙汰されているが、法制度面でも資金確保面でも難しい課題といえる。現状は不動産オーナーと利用希望者との個別案件であるため、東大通商業振興会などの協議により、エリアの将来を見据えた方針の共有と自分ごと化を進める必要がある。	建物更新のルールと主体の把握
本町通り・寺町エリア #歴史的な街並みの保全 #リノベーション #景観に関するルール	歴史性や資源の集積性を鑑みると、散策や回遊のための環境整備が望ましい。また、三ツ割や松園方面の自動車往来が多いため、歩車の共存に課題がある。	地域資源とポテンシャルに対する評価、及び誘客や回遊を促進することに関する地域側ニーズを把握するため、意見交換の対象となる方を明らかにする。	民間側の協議対象者の把握
中津川エリア #機能の誘導 #公共空間の充実	河川敷地の多い中津川の特性を活かし、景観的な魅力と利用しやすさを兼ね備えた水辺空間の形成を目指すとともに、河川景観を維持するための指針が必要であると考え。既に河川敷地を活用する取組を手掛ける活動団体等が存在する。	既に民間による利用や河川敷地のボランティア管理などが行われている状況にあり、余地性の高いエリアでもあることから、喫緊度は高くないため、既存の活動団体等と今後の空間利用と管理に関する協議や計画策定の検討を進める。	民間活動主体の意向確認とルール化

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）

108

	方針と地域側の状況	当面の対応（案）	
紺屋町・葺手町エリア #商店街の維持と更新 #開発のルール	高層マンションの新築が景観行政も巻き込んだ大きな問題として取り沙汰された。歴史的な建造物等が建ち並び、街並みを保全・維持・活用する民間側の活動団体も存在するため、その機能を高めつつ、まち歩きを楽しめるエリア形成を目指す。	地元側の体制も整っていること、具体的な事案もあることから、景観行政として、街並みの維持に関するルールを策定するための、ケーススタディを行うのに最も適したエリアであるため、本方針とそれに基づくアクションプランの検討を進める。	➡ ルール化とその運用に関する実践
肴町エリア #商店街の維持と更新 #開発のルール	しっかりとした商店街運営組織があり、リノベーションにより、アーケード内の居場所づくりや新たなチャレンジの場づくりなど、役割と照らし合わせた更新を進めつつ、開業間もないmonakaとの共栄・分担関係を構築していくことが求められる。	商店街内の業種誘導や非商業機能の立地に際してのルール検討、大型商業施設との差別化・共栄などの課題と、それを検討する主体が明確なエリアであり、民間側での検討を進めつつ、適宜必要な事業メニューなどを共有していく。	➡ 民間組織によるエリアのルール検討と支援
下ノ橋町・清水町エリア #歴史的資源の活用 #民間開発との連携	旧石井県令邸など、盛岡を代表する歴史的資源が点在すること、民間の開発案件がある状況を踏まえ、回遊性向上のためのソフト施策、民間開発との連携によるエリアらしい空間のあり方検討が求められる。	すでに計画策定されている民間開発の案件があるため、その設計にパブリックスペースを位置付けるなど、ビジョンを共有しながら具体の設計への反映をはかり、エリアとしてのあり方を実践的に検討する。	➡ 民間事業との連携による高質化の推進とエリアルールの検討
八幡通りエリア #エリアの維持と更新 #開発のルール #アセットマネジメント	盛岡八幡宮の参道にあり、歴史的な街路空間を有するエリアであるため、その機能を高次化・維持することを方針とする。一方で、昔ながらの間口が狭く、奥行き長い区画割りであることや、住居兼店舗が多く居住者がいることなど、エリアリノベーションを進めにくい事情も有する。	既存のまちづくり団体（もりおか八幡界限まちづくりの会）があり、同団体がコーディネートして活用に至っている物件もあるため、そのノウハウを活かしながら、長期的に遊休アセットが生じたときの更新（リノベーション）に関する指針を設けることから始めることが肝要である。	➡ 民間組織を中心としたエリア更新の指針検討
鉈屋町エリア #歴史的街並みの保全 #開発のルール	各エリアの中で最も歴史的な街並みの維持管理に取り組んでいるエリアであり、その資源的価値と機能をさらに高めることを方針としたい。かねてより、景観や歴史文化にかかる保全活動をしている既存団体があるが、その団体とリノベーション事業者の再整備に関するすり合わせなどは行われていない状況。	不動産の流動性が高まっており、現状は幸いにも街並みの保全と動的活用を意向に持つ事業者への譲渡が行われている状況にある。一方で、今後、高度利用を考える開発者が参入しない保証はないため、街並みの維持について、既存団体とケース想定を踏まえた検討を通じて、エリアのルールに類するものを検討する必要がある。	➡ 民間組織を中心としたエリア更新のルール検討、強制化の可能性検討

(2)実現化方策

道路空間再編・道路空間利活用道路空間

再編や利活用の推進に向けては、利活用の実施主体となる商店街組合等の民間側の意向を踏まえて官民が連携して検討を進めていくため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

駅前通りエリア、材木町エリア、大通りエリア、菜園通りエリア、映画館通りエリア、内丸・中央通りエリア、櫻山・大手先通りエリア、紺屋町・葺手町エリア

■想定される手法

- 「**「まちなかウォークابل推進事業」の活用による道路空間の再編**
都市再生整備計画区域内に「滞在快適性等向上区域（まちなかウォークابل区域）」を設定することで、道路空間を再編し、歩行者中心の空間への転換を図る。
- 「**歩行者利便増進道路（ほこみち）制度**」の適用による道路の利活用の推進
歩道等の中に歩行者のにぎわい・滞留空間を定めることで道路の利活用を推進する。
- 「**道路協力団体制度**」や「**都市再生推進法人制度**」の活用による道路の維持管理体制確立
道路占用を通じたオープンカフェや物販施設の設置による収益を、道路環境の維持 向上に還元する。
- **地元協議会の組織による官民連携した事業の推進**
地元協議会と行政が連携し、地域全体として実施したい取組であることを強調することで、交通管理者をはじめとした関係者協議をスムーズに進める。

■盛岡市の実績

- 歩行者利便増進道路の指定（「市道盛岡駅前通線」、令和3（2021）年）
- 歩行者天国のイベント実施（「もりおか駅前 開運ホコテン」、令和5（2023）年・令和6（2024）年・令和7（2025）年）
- 「居心地が良く歩きたくなる」まちなか形成に向けた調査（岩手県立大学総合政策学部、令和5（2023）年・令和6（2024）年）



■参考事例 駅前広場の歩行者空間化（大阪市なんば）

- **民間発意から官民連携のプロジェクトに展開**
平成23（2011）年に地元町会や商店街、周辺企業等で構成される「なんば安心安全にぎわいのまちづくり協議会」を設立。平成27（2015）年に地元協議会から大阪市に、検討 組織の参画について要請し、官民合同で組織する「なんば駅前広場空間利用検討会」を立ち上げた。
- **御堂筋やターミナル周辺も含むバス・タクシー・荷捌き車等の大規模交通再編**
御堂筋からの車両侵入禁止とバス・タクシー等の交通機能の再配置を行うことで、駅前広場は24時間歩行者専用の空間とした。空間再編後の道路線形を具現化した社会実験を実施し、交通荷さばきの運用や安全性、歩行者空間の利活用の検証をした後、整備を行った。

水辺空間の形成・水辺空間の利活用

「盛岡地区かわまちづくり計画」に基づく既存の取組の更なる展開や、水辺に面した民間開発との連携、北上川・中津川の連携強化に向けて、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

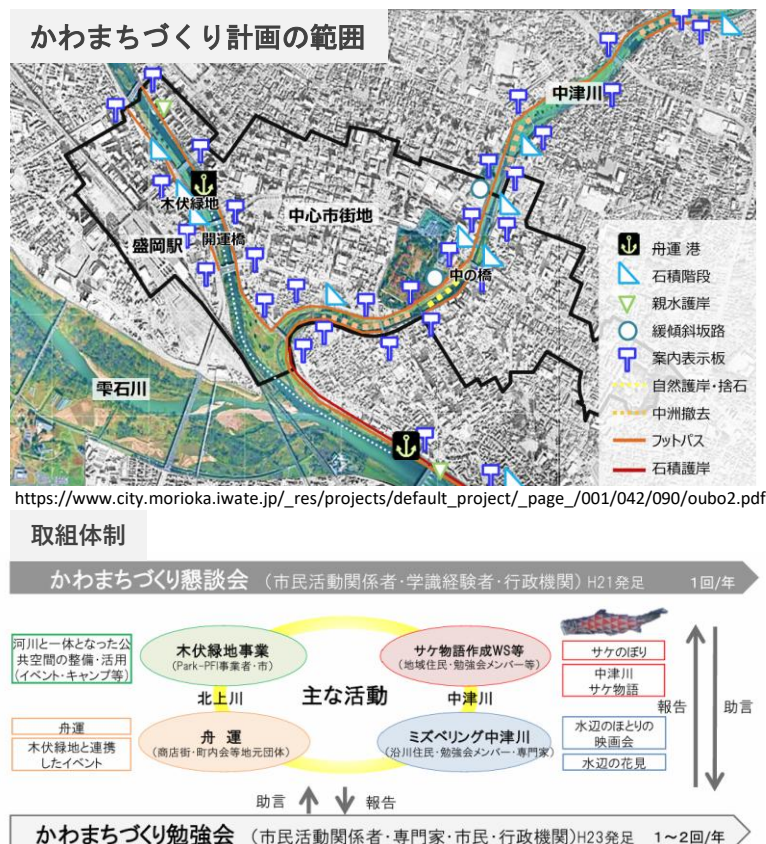
北上川エリア、中津川エリア

■想定される手法

- 「都市・地域再生等利用区域」の指定による水辺空間の利活用の推進
行政から要望を受けた河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定し、民間事業者による河川の占用を可能とすることで、水辺空間の利活用を推進する。
- 民間事業者と連携した「かわまちづくり計画（第二期）」の策定
都市・地域再生等利用区域の占用主体や、河川区域内や隣接する土地で施設整備を行う。
民間事業者と連携してかわまちづくり計画を策定することで、北上川・中津川に面した施設の新設・更新に合わせて、水辺の遊歩道や広場の整備を推進する。

■盛岡市の実績

- ・ 盛岡地区かわまちづくり懇談会の実施（平成22（2010）年～）
- ・ 盛岡地区かわまちづくり勉強会の実施（平成23（2011）年～）
- ・ 「盛岡地区かわまちづくり計画」の策定（平成29（2017）年）
- ・ 北上川における舟運の運航（平成29（2017）年～）
- ・ 公募設置管理制度（P-PFI）を活用した木伏緑地の整備（令和元（2019）年）
- ・ かわまち大賞の受賞（令和4（2022）年）
- ・ 都市・地域再生等利用区域の指定に関する議論（令和5（2023）年12月盛岡地区かわまちづくり懇談会）
- ・ 北上川・中津川における各種イベントの実施



■参考事例 水都大阪（大阪府・大阪市）

● 水辺空間の一体的なブランディング

大阪府、大阪市、経済界、観光局、舟運団体、学識者で構成される「水都大阪コンソーシアム」を組織し、大阪を「水の都」堂島川・東横堀川・土佐濠川、道頓堀川・木津川等、複数の水辺空間を「水の回廊」としてPR。公募で選定された民間事業者が「都市・地域再生等利用区域」を包括的に占用し、多様なイベントを実施している。

歴史的建造物の保全活用・リノベーション

盛岡市内では、景観地区に指定されている大慈寺地区を中心に町家等の歴史的建造物の保全・活用の取組が行われています。各エリアに点在する、街並みに資する建物の保全・活用を進めるため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

本町通り・寺町エリア、紺屋町・葺手町エリア、八幡通りエリア、鉈屋町エリア

■想定される手法

- **街並み環境整備事業の活用による、建物の修景や街路・広場の整備**
街並み環境整備促進区域に指定された区域のうち、区域内の土地所有者等によるまちづくり協定が締結されている地区で、住宅等の修景や歴史的建造物の改修、公共施設の整備等に助成を行う。
- **市独自の条例等の制定による街並みに資する個別の建物の保存・活用の促進**
個別の建物や区域を指定し、支援の充実（改修費用の補助等）や所有者への義務付け（解体の1年前までの解体届の提出等）を行うことで、歴史的な建造物の維持継承を図る。
- **町家バンクの設置による売買・賃貸のマッチング**
町家バンクにより歴史的建造物の所有者、居住希望者、利活用を希望する事業者、専門家をマッチングし、歴史的建造物の利活用を推進する。

■盛岡市の実績

- 盛岡市歴史的街並み保存活用基本計画の策定（平成20（2008）年）
- 歴史的町並み整備事業補助金制度による歴史的建造物の修理や修景への補助金の交付（平成20（2008）年～）
- 街並み環境整備事業（平成21（2009）年～）
- 大慈寺地区地区計画の策定（平成24（2012）年）

- 市民協働推進事業（まちづくり施設整備事業）による町家等の修理活用（平成24（2012）～平成26（2014）年）
- 大慈寺地区景観地区の指定（平成28（2016）年）
- 盛岡市景観計画の策定（平成30（2018）年）
- 紺屋町番屋の改修・活用事業（令和4（2022）年）
- 盛岡まち並み塾によるクラウドファンディング（令和7（2025）年～）

※盛岡市歴史的街並み保存活用基本計画における街並み保存地区の指定

- 重点保存地区：鉈屋町、大慈寺町
- 保存推進地区：紺屋町・中の橋地区、盛岡城跡地区
- 準保存推進地区：馬町・十三日町地区、下ノ橋・清水町地区、八幡町地区、神子田・朝市地区、油町・北山寺院群地区



Microsoft Word - 01[1].doc

■参考事例

こまちなみ保存条例による歴史的な街並みの保存（金沢市）

● 指定したエリア内の建築行為に関する届出・指導制度

「こまちなみ保存区域」を指定し、それぞれの区域ごとに、建築行為を行う場合のまちなみの特徴に応じた留意点として「こまちなみ保存基準」を定める。一定の建築行為を行う際の届出及び助言、指導又は勧告についても定めている。

● 登録した建物への技術・財政的な援助

保存区域の特徴を良くとどめる建物等を、所有者の同意のもとに「こまちなみ保存建造物」に登録して、地域にも周知する。修理や修景に対して技術的な援助や財政的な援助を行っている。

店舗の出店誘導

エリアの特色に合わせた店舗の出店誘導を行い、各エリアの個性を強化するため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

駅前通りエリア、開運橋エリア、肴町エリア

■想定される手法

● 出店希望者とエリアのマッチング

不動産業者との連携により、エリアの個性に合わせた店舗の出店を誘導する。

● まちづくり協定による出店者の業種・業態の誘導

商店街等がまちづくり協定を策定し、出店してほしいまたは出店を断る業種・業態を明確にすることで、業種・業態を誘導する。

■盛岡市の実績

- ・ 大規模小売店舗立地法特例区域の指定による、大規模小売店舗の新規立地や既存店舗のリニューアルの促進（平成22（2010）年）
- ・ 商店街振興事業（盛岡市「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」）
- ・ 街なか出店等促進事業（盛岡市「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」）

■参考事例 出店者エリアマッチング支援事業（岡崎市）

● 出店希望者に対するエリア情報の提供により、まちにとってもプラスになる出店を誘導

出店コーディネーターが、エリアの特徴を踏まえて、エリアのニーズに合わせた店舗を誘致するとともに、出店希望者に対してエリアの商圈・客層・付近の競合等の情報を提供し具体的な出店のイメージを提示。

良好な開発の誘導

建物の新築・更新時に、街並みに資する良好な開発を誘導できるよう、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

中心市街地全域

■想定される手法

● 優良建築物等整備事業の活用による良好な開発に対する補助

一定規模以上の空地を確保した事業に関する補助

● 建築協定による街並みの連続性の確保

土地所有者等が、建築物の位置や形態・色彩に関して建築協定を定めることで、街並みの連続性を確保する。

■盛岡市の実績

- ・ 優良建築物等整備事業（平成3（1991）年～

■参考事例

まちなか建て替えスタートアップ事業（北九州市）

● 出店希望者に対するエリア情報の提供により、まちにとってもプラスになる出店を誘導

出店コーディネーターが、エリアの特徴を踏まえて、エリアのニーズに合わせた店舗を誘致するとともに、出店希望者に対してエリアの商圈・客層・付近の競合等の情報を提供し具体的な出店のイメージを提示。

(3) 今後のスケジュール (案)

「中心市街地デザイン戦略」の策定経緯は下記の通りです。

行政
(盛岡市)

素案作成

素案を共有
↓
意見を反映
↑

素案
作成

素案修正

素案を共有
↓
意見を反映
↑

素案
公表

各エリアでのヒアリングの実施



官民連携
の取組

各エリアでまちづくりに携わる方へのヒアリングをおこない、エリアの特徴・課題やまちへの想いを伺いました。

令和6(2024)年8月～令和7(2025)年5月

↑
協力

民間

各エリアでのまちづくりの推進

共有会・庁内WSの開催



ヒアリングに協力いただいた方への情報共有会や市役所庁内WSを通じて、素案への意見を伺いました。

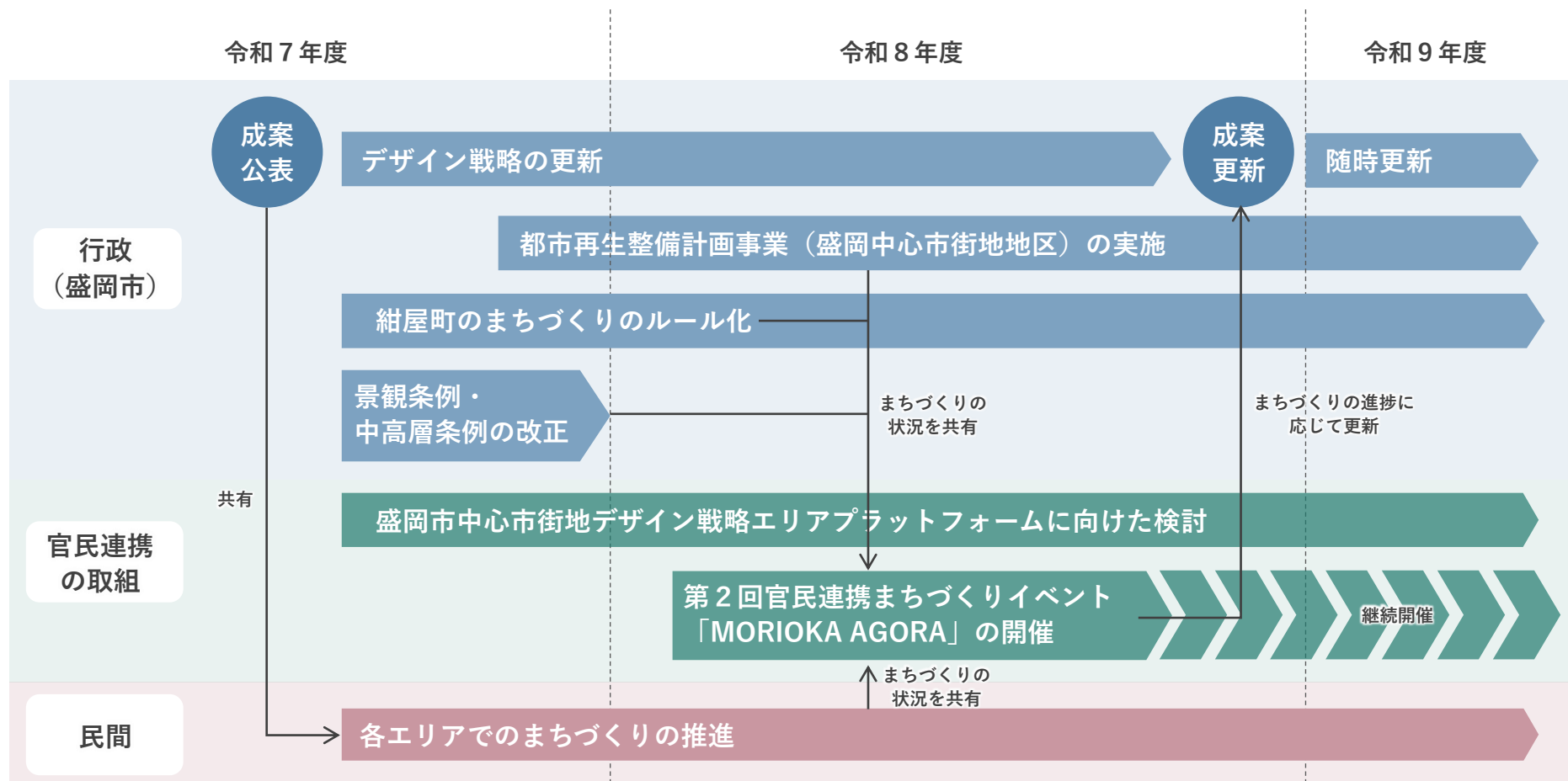
令和7(2025)年1月23日第1回情報共有会、市役所庁内WS、令和7(2025)年5月26日第2回情報共有会

↑
協力

「中心市街地デザイン戦略」の策定経緯は下記の通りです。



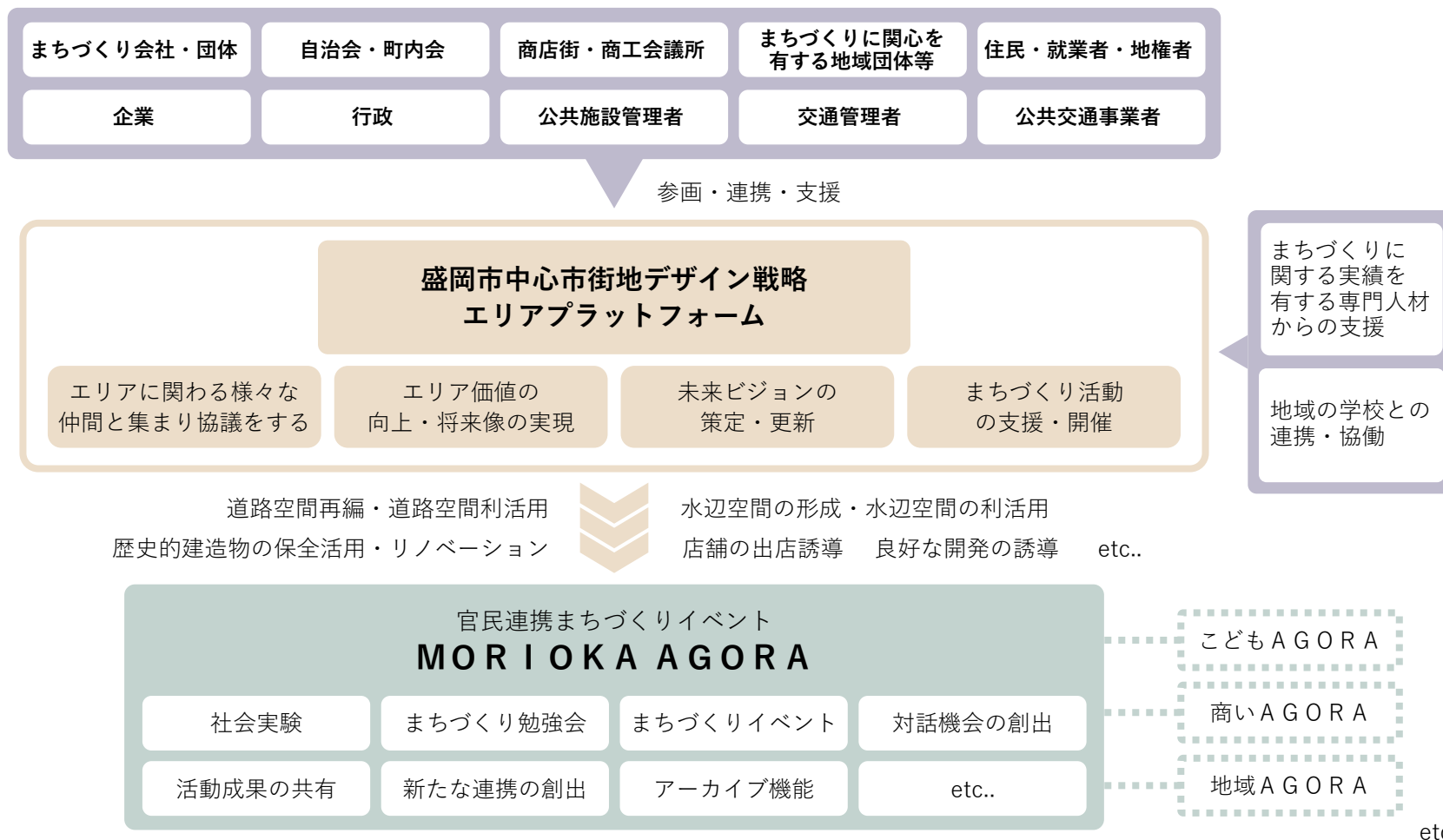
「中心市街地デザイン戦略」の実装化および更新の予定は下記の通りです。まちづくりの進捗に応じて、随時更新をおこないます。



※スケジュールは現時点のものです。今後変更する可能性があります。

令和9（2027）年度以降（※）盛岡市中心市街地デザイン戦略エリアプラットフォームの構築を予定しています。

※エリアプラットフォーム：行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取り組み（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場



盛岡市中心市街地デザイン戦略

令和 7 年11月作成

盛岡市都市整備部市街地整備課まちなか未来創生室

〒020-8532 盛岡市津志田 14 地割 37 番地 2

盛岡市役所都南分庁舎

TEL 019-639-9061 (直通)

FAX 019-639-9059

E-mail shigaiti@city.morioka.iwate.jp

URL <https://www.city.morioka.iwate.jp/>